



# Web Fairy Paradise

改訂：2016/5/23

**第95号**

## 今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第 82 回 WFP フェアリー作品展 (再掲)
- ・ 第 83 回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第 101 回 推理将棋出題
- ・ 第 102 回 推理将棋出題
- ・ 強欲な世界パート 8

## 結果発表

- ・ 第 81 回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第 100 回 推理将棋出題
- ・ Fairy of the Forest#47
- ・ 強欲な世界パート 7
- ・ カピタン展示室 NO.26

## 読み物

- ・ Fairy TopIX2015 投票結果
- ・ リパブリカン詰の紹介 (改訂版)



**2016/5**

## はじめに

---



### 宇和島城

例年仕事で休みのとれない GW ですが、今年は奇跡的に仕事が入らずお休みが取れました。とは言え GW に観光地に行くと渋滞&人ごみを見に行くようなもので躊躇していましたが、さすがにすることが無いので愛媛県南予地方宇和島市に行つて来ました。新居浜から約2時間高速を走れば到着します。道の駅で海鮮丼を食べたあと現存12 天守の1つ宇和島城へ。宇和島城天守は1601年藤堂高虎築城、その後 1615 年に伊達政宗の長子秀宗が入城した名城です。

麓の駐車場から徒歩で約 20 分掛けて天守閣へ上り、宇和島の市内を一望。心が癒されます。さあ帰ろうかと下りかけたところ。家内の叫び声が・・・。

草むらからへびが登場したようで、それ以降は早く帰ろうの一点張り。東の間の小旅行はここで幕を下ろしました。

3日は詰備会に参加しようと家を出たら、何と強風の為、JR 予讃線の新居浜から東が不通。車で行くとしても強風で高速道路で大型車が横倒しになり通行止めというわけであえなく不参加となりました。1月の詰四会といい、今年は詰将棋の会に縁がないようでちょっと落ち込んでいます。

WFP100号まであと5号となります。こちらは天候にも強風にも台風にも負けなよう準備を進めたいと思いますので、皆様もいろいろご参加頂き盛り上げて頂きたいと思います。

## 【募集】

### 作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

### 読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

### 感想

第95号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：[takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)

---

### 協力いただいている方々の HP アドレス

\*ご協力感謝します

#### 妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

#### 詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

#### 詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

#### Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

#### K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

#### フェアリー時々詰将棋

<http://fairypara.blog.fc2.com/>

#### 占魚亭残日録

<http://d.hatena.ne.jp/sengyotei/>

## 第82回WFP作品展(再掲)及び 第83回WFP作品展

担当：神無七郎

最近、面白い記事を読みました。

「ず's 将棋」というサイトの「1手詰めを勉強する理由」です。(http://shogi.zukeran.org/2016/05/04/why-learn-mate1-problem/)

この記事によると、1手詰を確実に読めると、それ以外の能力が同じ相手に約6割勝てるそうです。1手詰だけで強くなるという結果も興味深いです。面白いのはその検証方法。将棋ソフト同士を、一方だけ1手詰判定ルーチンを外して2000回戦わせたそうです。同じ能力を持った人間を二人用意するのは無理ですが、ソフトウェアならそれができます。今は非常に強い将棋ソフトがソースコードも含めて公開されているので、将棋ソフトを用いたシミュレーションも行いやすくなりました。例えば「24点法と27点法では持将棋が成立する率がどれだけ違うか」とか「変則的な駒落ちを含む各種駒落ちはどれだけ勝率差に相当するか」など、何か知りたい事があれば、ある程度実験的な裏付けを取ることも可能でしょう。

というわけで私もこれに倣い、「1手詰を逃さないようにすると詰将棋の解図能力がどれだけ上がるか」を測ってみました。使ったのは自作の解図プログラム Worst1.exe。現時点では未発表の1.76版を使用しました。本当は大量の問題を解かせるべきなのですが、都合により少数の例だけで済ませました。そのうち伊藤看寿「寿」611手詰で試した例をお見せします。早詰チェック以降の工程を省略した、解図のみの時間と探索局面数です。

### 1手詰判定あり

所要時間：40秒、探索局面数：5268889

### 1手詰判定なし

所要時間：113秒、探索局面数：15149494

1手詰判定があるだけで約3倍の性能向上ですね。所要時間は測定時の状況（割り込みの有無や並行動作する他のプロセスの有無など）に左右されるので、比較は探索局面数の方が確実です。なお、ここで使用した1手詰判定は専用のもではなく、単純な固定深度の探索で、探索局面数にはそれも含めています。

実戦ならともかく、詰将棋用のソフトで1手詰判定が有効なのはなぜでしょう？

Worst1.exeは探索アルゴリズムにdf-pn（正確にはそのアレンジ版であるWPNS）を用いています。これは平たく言えば「手数に関係なく一番詰みそうな手（受方は詰まなそうな手）から読む」アルゴリズムです。このアルゴリズムは短手数の詰みがあっても、それを無視して長手順を読むことがあります。山登りに例えると、少し無理をして急斜面を登れば1分で着くのに、起伏の少ないなだらかな道に沿って山腹を大回りし、1時間で着く経路を選ぶようなものです。そのため攻方の手番で1手詰を強制的に読ませると性能が上がるのです。

ここで「1手詰でなく3手詰を強制的に読ませれば、もっと性能が上がるのでは？」と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、でも、実験の結果は否定的でした。問題の性質にもよりますが、ほとんどの長手数作品では急斜面にチャレンジするより、なだらかな道を進んだ方が解図時間は短くなります。つまり「急がば回れ」という諺は詰将棋にも当てはまるのです。ただし、1手詰程度ならチャレンジが失敗しても大して損はしないので「急がば回れ、でも少しは近道も探せ」という方針が成功するのでしょうか。

実を言うと同様の実験についての論文を読んだことがあるのですが、自分で確かめることは大事です。別に目新しい結果は出ませんが、やって良かったと思います。

今回は「1手詰めを勉強する理由」という記事から始めて、1手詰の重要性について書きましたが、ここで少しお願いします。

フェアリーでの1手詰は普通詰将棋の1手詰以上に重要です。特に本誌未登場のルールの場合は、いきなり作品を投稿するのではなく、まずはルール自体と、そのルールの1手詰（白玉系なら2手詰）の例をできるだけ多く誌上で紹介し、解答者の理解を深めるようよう配慮してください。きっとそれは自身の創作能力や作品の質の向上にも繋がるはずですよ。

さて、今回のWFP作品展は第82回分の再掲と第83回分の新規出題です。第83回分は大量15題の出題。しかもかなりの難解作が含まれています。幸い、半期末で解答募集期間がいつもより一ヶ月長いので、この時間を利用して解図にチャレンジしてください。

## 〔第 82 回作品展各題への補足説明〕（再掲）

第 82 回の出題は全 7 題。内訳は神無太郎氏 1 題、変寝夢氏 6 題です。問題数が少なく、手数も短く、(担当の主観では) 難度も高くありません。以下のルール説明や過去問を参考に、全題正解を目指してください。

**82-1** は神無太郎氏の作品。初形で飛による王手が掛かっているように見えますが、ルールは **Isardam**。自玉に飛の紐が付いているので王手ではありません。初手が一つしかないので考えやすいと思います。

**82-2** から **82-7** は変寝夢氏による様々なルールの作品群。ルール説明をよくお読みください。

**82-2** は **Dolphin** という駒を使った作品です。これは **Queen** の利きの方向に 1 つ駒を跳び越す **Grasshopper** と、**Queen** の利きの方向に 2 つ駒を跳び越す **Kangaroo** の性能を合わせた駒で、1 枚でも 2 枚でも跳び越す越すことができます。3 枚以上は跳び越せないの注意してください。

**82-3** は打歩ルールですが、受方持駒に歩がありません。攻方の歩も玉からはるか遠くにあります。普通なら絶望的な状況ですが、中立駒をうまく使って打歩詰を達成してください。

**82-4** 及び **82-5** は指定手数逆算して 1 手詰を求める「レトロ」の問題。共に攻方王手義務がある前提です。ただし、**82-4** は受方の持駒は標準駒の残りすべて。**82-5** は **Grasshopper** のみの指定になっています。

**82-6** は前回初登場したばかりの「リパブリカン」の作品。玉をどこに発生させるか考えれば易しいと思います。

**82-7** は第 75 回以来の登場となるボカスカールの作品。駒が一斉に動くので、局面の変化が激しいのが特徴ですが、本局は受方持駒制限のおかげでかなり解き易いと思います。

## 〔第 83 回作品展各題への補足説明〕

第 83 回の出題は全 16 題。そのうち 1 題はツインなので実質 17 題の大量出題です。内訳は占魚亭氏 2 題、神無太郎氏 2 題、小林看空氏 2 題、変寝夢氏 10 題。問題数が多いだけでなく、難度が高いものもあるので、まずは易しそうなものから取り掛かってください。幸い、今回は解答募集期間が一ヶ月長いので、この期間を有効に活用しましょう。

**83-1** と **83-16** は占魚亭氏の **Imitator** 作品。投稿順に並べているので、位置が離れてしまいました。**83-1** はもちろん龍で王手が掛かっていま

せん。**Imitator** が盤端を越える手は王手といえども反則です。**83-16** は金と銀の違いによる組局。玉が中立駒で難しそうですが、受方持駒が角のみなのを利用して解いてください。

**83-2** と **83-3** は神無太郎氏の **Isardam** 作品。**83-3** は受方持駒に **Grasshopper** が 3 枚ありますが、これは受方が指せる手の回数に合わせたものです。3 枚全部を使うとは限りません。

**83-4** と **83-5** は、PWC は意外にも初めてという小林看空氏の作品。どちらも「打歩」の条件が付いています。**83-5** は準実戦初形ですが合駒で歩を稼げない形なので、歩を入手するまでの道のりが大変です。

**83-6**～**83-15** は変寝夢氏の様々なルールの作品群。とはいえ、個々のルールはこの作品展で既に登場済みなので、面食らうことはないでしょう。以下は個々の作品に関する補足説明です。

**83-6** の **Queen** は中立駒です。やみくもに王手を掛ける前に、なぜ中立駒なのか理由を考え、作戦を立ててください。

**83-7** で配置されている **Queen** は中立駒ではなく、普通に攻方の駒です。「こんなの楽勝」と思った方は「ヘルプセルフ」という条件を見落としているかもしれません。これは「最後にどう応じられても自玉が詰むようにせよ」という指定です。途中までの手順では協力系自玉詰（ヘルプメイト）で、最後だけ対抗系自玉詰（セルフメイト）になるとことから「ヘルプセルフ」と名付けられているのでしょう。

**83-8** は **Eagle** (鷲) という **Grasshopper** の変種を使った作品です。ジャンプ台から先へ真っ直ぐ進むのではなく、曲がって **90°** 横に着地します。本作品展では **76-9** で登場しているので、参考にしてください。

**83-9** は同種の駒が一斉に動く「ボカスカ」ルールの作品。複数の駒が同時に動く系統のルールは頭の中だけで解くのは大変ですが、本局の場合は受方持駒指定があるので、比較的容易でしょう。**82-7** でも出題されましたが、過去問は **75-8** を参考にしてください。

**83-10** と **83-11** は共に **Grasshopper** を使ったレトロの問題。受方持駒制限がある上、攻方王手義務があることを前提にした逆算なので、手は見た目より絞られます

**83-12** は中立駒をキルケに適用した問題。中立駒のキルケでの戻り位置は、中立駒を手番側の駒とみなしたときの戻り位置で、成駒が生駒になって戻るという設定も適用されるものとし

ます。

**83-12** は初手が一つしかありません。Lion、中立玉、桂でどう詰めるか想像しにくいので、後半が難しいと思います。

**83-14** と **83-15** はミニ将棋の一種である「京都将棋」の作品。駒の種類が1手指すごとに変わるカメレオン系の特徴を持ったルールなので、常に元の駒と変身先の駒の両方の利きを念頭に置いて手を進めねばなりません。どの駒がどの駒になるか思い出せない時は「京都銀閣金鶏秘譜」と呪文を唱えるのが効果的です。

### 解答要項

第 82 回分解答締切:2016 年 6 月 15 日(水)

第 83 回分解答締切:2016 年 8 月 15 日(月)

宛先: janacek789@ybb.ne.jp (メールの件名に「解答」の語句を入れてください。)

### 作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。(原則として毎月 15 日の投稿まで当月号に掲載します。)宛先は解答と同じ janacek789@ybb.ne.jp へ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。機械検討済みなら出力結果のファイル添付を推奨します。

### WFP 作品展: 今後の予定

7 月は「氾濫」結果稿の作成と重なるため、7 月号の新規出題と 8 月の結果稿はお休みさせていただきます。

今後の予定は以下のようになっていますので、あらかじめご承知ください。

	5 月	6 月	7 月	8 月
第 82 回	再掲	結果		
第 83 回	出題	再掲	再掲	結果
第 84 回			出題	再掲
第 85 回				出題

### ルール説明

※WFP のページにまとめ資料 (<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/wfpr2015.pdf>) があるので、それも参考にしてください。

#### 【Isardam】

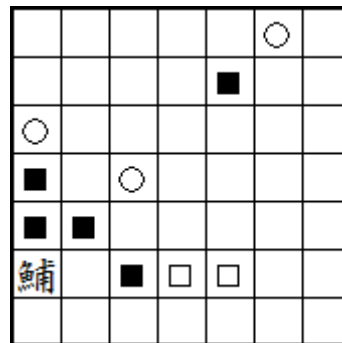
同種の敵駒の利きに入る手を禁止する。玉を取ると同種の敵駒の利きに入る場合は王手とみなさない。(タイプ A) 成駒と生駒は別種の駒として区別する

#### 【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

#### 【Dolphin】(鮪)

Grasshopper と Kangaroo の動きを併せ持つ駒。クィーンの線上にある駒を 1 つ、または 2 つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



(■は敵または味方の駒。○が鮪の利き。□が共に敵駒ならどちらかを取れる。)

#### 【打歩】

打歩詰以外の詰手を失敗とする。(単純打歩)

#### 【中立駒】(「 $n$ 駒」あるいは「 $n$ 駒」)

どちらの手番でも動かせる駒。

横向きの字か横に  $n$  を付加して表記。

#### (補足)

- 1) 中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる(利きが非対称な駒の場合に要注意)
- 2) 中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 3) 中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。
- 4) 中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5) 二歩禁が適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 6) 中立駒は行き所ない駒にならない。
- 7) 中立駒でも自玉への王手は反則。自玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行く。→詳細は WFP61 号の「中立駒の紹介」参照。

#### 【レトロ $-m+n$ 手】

$m$  手逆算して  $n$  手で詰む手順を求める。

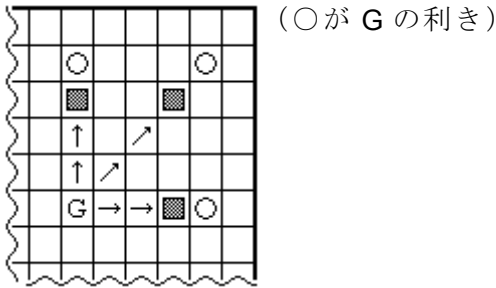
#### (補足)

- 1) 特に注釈のない場合、逆算も攻方王手義務があることを前提とする
- 2) 協力系の場合逆算も双方が協力する

#### 【Grasshopper】(G)

フェアリーチェスの駒。クィーンの線上で、ある駒を 1 つ飛び越したその直後の地点に

着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



(○が G の利き)

### 【リパブリカン】

最終手を指すと同時に任意の空きマスから一つ選んで玉を置き、詰んでいる局面を作る。(補足)

- 1) 双玉等において詰める対象でない玉は通常の玉と同じく、最初から最後まで盤上に存在する
- 2) 詰める対象の玉は「盤上にあるが見えない」わけではなく、詰むときに盤に出現する。従って玉がどこかにいる前提での着手の合法・非合法の判定は行わない。ただし、最終手では玉を置いた後の配置で合法局面かどうかの判定を行う。
- 3) 単玉の場合最終手を除き王手義務はない。自玉系のルールのように、詰める対象の玉と王手義務の対象となる玉が異なる場合は、王手を掛けるべき玉に対する王手義務がある。

→詳しいルール説明や例題は WFP92 号「リパブリカン詰の紹介」を参照のこと。

### 【ボカスカ】

盤上にある味方の同じ種類の駒は、すべて同時に同一方向に動かす。

(補足)

- ・成駒と生駒は別種とみなす
- ・動かさない駒があれば動かせるだけ動かす。
- ・成・不成は1枚毎に自由。持駒も同じ種類の駒はすべて同時に打つ。
- ・歩だけは例外で打つのも動くのも単独。
- ・棋譜の書き方は、右上銀、下2飛（飛を2つ引く）等と書くことにする。成りを指定するときは、上3香(23,33)成、等と書く。(これはすべての香車が3マス走って 23 と 33 に来た2枚だけが成った、の意味) 打つときは、(23,33,24,34)桂、のように書く。1枚だけ動く、または打つときは、一般的な記法(32金など)で書く。

### 【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

### 【Imitator】(■または I)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。この Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

### 【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイト(王手は掛かっていないが合法手のない状態)にする。

### 【PWC】

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。(駒位置の交換となる)

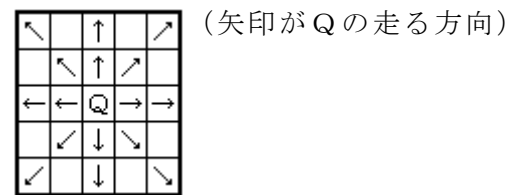
(補足)

- 1) 駒の成・生の状態は維持されたまま位置交換される。
- 2) 位置交換の結果、相手駒が二歩になったり、行きどころのない駒になる場合は、通常の駒取りと同じで、盤上に戻らず、自分の持駒になる。
- 3) 駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。

### 【Queen】(Q)

チェスの Queen。

飛車と角を合わせた性能を持つ。



(矢印がQの走る方向)

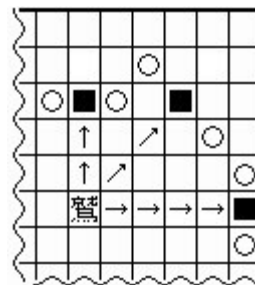
### 【ヘルプセルフ】

最終手はどんな応手をされても目的を達成できなければならない。

### 【Eagle】(鷲)

フェアリーチェスの Eagle。

グラスホッパーの変種で、Queen の利きの方向にある駒に到達した後、進行方向に対し 90° 曲がった場所に着地する。



(○が鷲の利き。■は敵または味方の駒。)

### 【キルケ】

駒が取られると最も近い将棋での指し始め位置に戻される。戻せないときは持駒になる。

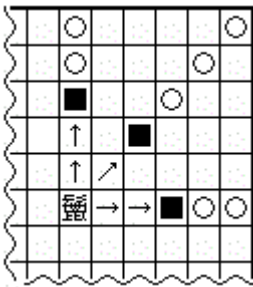
(補足)

- 1) 成駒は生駒になって戻る。
- 2) 戻り位置が埋まっていたり、二歩になったりする場合は戻れない。
- 3) 駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。
- 4) 金銀桂香(成駒も含む)が5筋で取られ、複数の戻り先候補がある場合、戻る位置を選択できる。

【Lion】(鬣)

フェアリーチェスの Lion。

クイーンの利きの方向にある駒を1つ跳び越えその先の任意のマスに着地する。着地点に敵駒があれば取れる。



(○が鬣の利き。  
■は敵または味方の駒。○の地点が埋まっていると、その先には跳べない。)

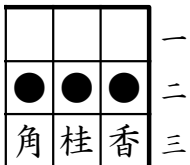
【石】(●)

不透過・不可侵の領域を表す。

飛び越すことは可能。

3 2 1

例えば左図で、  
12 香や 11 香成は不可。  
22 角や 11 角は不可。  
11 桂成や 31 桂成は可。



【京都将棋】

盤面は縦横 5 マス。自陣・敵陣はない。駒は次の 5 種類を先後各 1 枚ずつ持っている。動きは将棋のものと同じ。

- ・玉：表裏とも玉
- ・香と(きょうと)：表が香、裏がと
- ・銀角(ぎんかく)：表が銀、裏が角
- ・金桂(きんけい)：表が金、裏が桂
- ・飛歩(ひふ)：表が飛、裏が歩

駒は成らず、その代わりに 1 手動くごとにその駒を裏返す。すなわち駒は 1 手ごとに性能が変わる。

将棋同様取った駒は打てるが、表裏どちらで打ってもよい。

打歩詰、二歩は禁止されていない。行き所のない駒も禁止されていない。

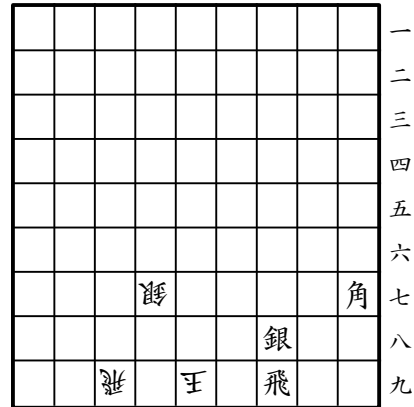
《第 82 回 WFP 作品展》(再掲)

解答締切：2016 年 6 月 15 日(水)

■ 82-1 神無太郎氏作

Isardam 協力詰 7 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

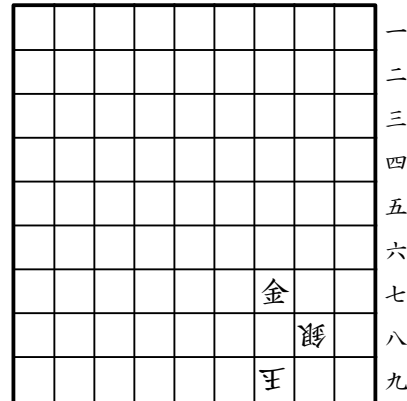


持駒 なし

■ 82-2 変寝夢氏作

協力詰 7 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



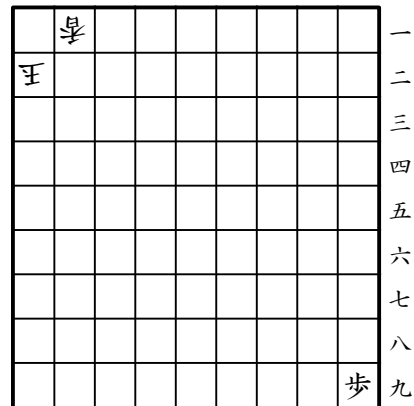
持駒 鮪

※鮪:Dolphin (Grasshopper+Kangaroo)

■ 82-3 変寝夢氏作

打歩協力詰 9 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



攻方持駒 n 角

受方持駒 なし

※持駒角は中立駒

■ 82-4 変寝夢氏作

レトロ協力詰 -2+1手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
		飛								七
			駒		王					八
							ス			九

持駒 なし

■ 82-5 変寝夢氏作

レトロ協力詰 -10+1手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
						垂				六
										七
							銀	ス		八
							駒		王	九

攻方持駒 なし

受方持駒 G

※G:Grasshopper

■ 82-6 変寝夢氏作

リパブリカン協力詰 3手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
									駒	二
										三
										四
										五
										六
									銀	七
										八
						金			桂	九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

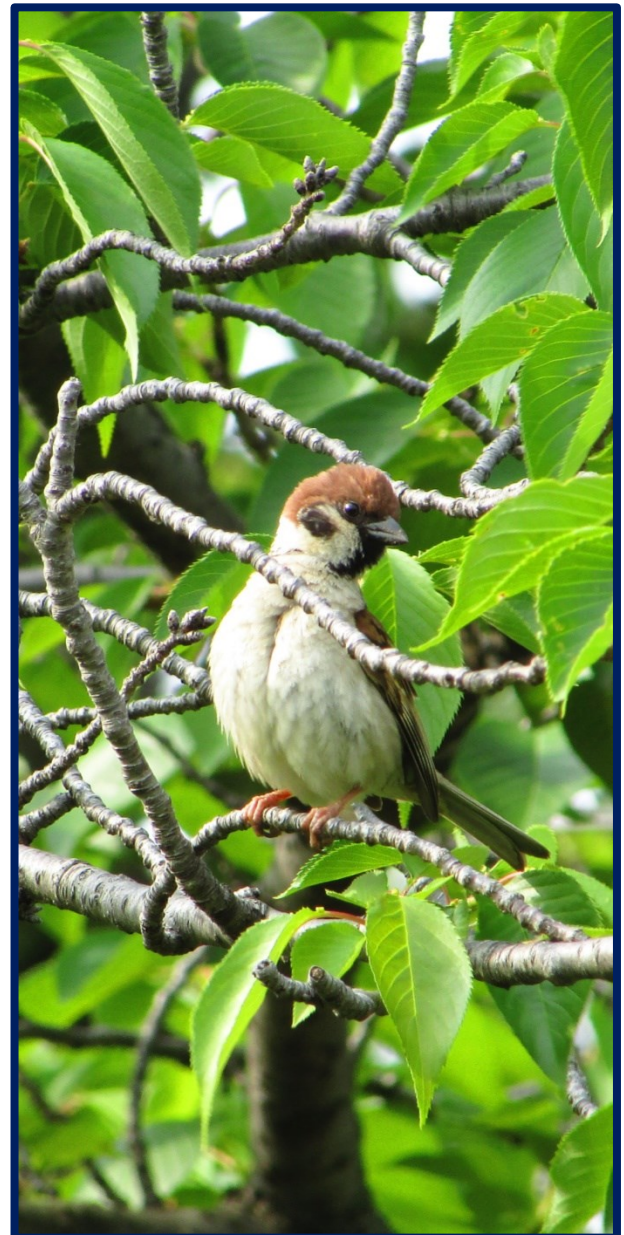
■ 82-7 変寝夢氏作

ボカスカ協力白玉詰 6手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
							王			六
角										七
							角			八
									王	九

攻方持駒 なし

受方持駒 桂2







■ 83-7 変寝夢氏作

協力自玉詰 6手 ※ヘルプセルフ  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
				Q						五
										六
								王		七
										八
									王	九

持駒 なし  
※Q:Queen

■ 83-8 変寝夢氏作

協力詰 7手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
					王					四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 銀鷲  
※鷲:Eagle

■ 83-9 変寝夢氏作

ボカスカ協力自玉詰 4手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
					王					五
										六
										七
										八
	王									九

攻方持駒 飛金  
受方持駒 桂2

■ 83-10 変寝夢氏作

レトロ協力詰 -2+1手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
								將		四
								王		五
										六
						王		G		七
								王		八
										九

攻方持駒 なし  
受方持駒 飛  
※G:Grasshopper

■ 83-11 変寝夢氏作

レトロ協力詰 -4+1手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
								王		五
					歩					六
								G		七
								王		八
										九

攻方持駒 なし  
受方持駒 飛  
※G:Grasshopper

■ 83-12 変寝夢氏作

キルケ協力自玉詰 10手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
							と	王		七
							銀			八
							歩	王		九

持駒 n香  
※38銀及び持駒香は中立駒



## 推理将棋第101回出題

担当：NAO

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第101回出題です。はじめての方は「どんな将棋だったの?」 - 推理将棋入門 をごらんください。

解答、感想はメールで2016年5月20日までにTETSUまで (omochabako@nifty.com) メールの題名は「推理将棋第101回解答」でお願いします。解答者全員の中から抽選で1名に賞品リストからどれでも一つご希望のものをプレゼント! 1題でも解けたらぜひご解答ください。

今月は第101回に因んで「10手詰1条件」特集。

初級と中級は前回に引き続き、渡辺さんの10手詰1条件作品。前回「難度ゼロ」よりは、少し難しめの作品を選題です。上級は担当からの出題。具体的な棋譜情報がない分、上級としましたがこれが1番易しく感じられるかもしれません。

初級、中級、上級と分けましたが、通常出題ならいずれも難度は中級クラスです。シンプルな1条件は解くためのヒント情報が少なく、読みの迷路に入って意外に難しく感じられることも多くあります。推理のツボを押さえて手順を導いてください。

本出題

101-1 初級 渡辺秀行 作

75飛まで 10手

75飛で詰む形を推理しよう。

101-2 中級 渡辺秀行 作

念には念を 10手

取りをかけなくても取れる飛はどこに居るのか推理しよう。

101-3 上級 NAO 作

ダンシングクイーン 10手

隣接する二つの筋だけで詰む形を推理しよう。

■締め切り前ヒント (5月13日頃コメント欄に掲載 NAO)

101-1 初級 渡辺秀行 作

75飛まで 10手

「どうだ! 10手目この75飛で詰みだ」  
「参りました」

さて、どんな将棋だったのだろうか?

(条件)

・10手目75飛で詰んだ

101-2 中級 渡辺秀行 作

念には念を 10手

「9手目相手の飛を取っても良かったんだけどね。念には念を入れて、36歩と指してさらにその飛に取りをかけたんだよ」

「そんな悠長なことしているから10手目に詰まされるんだよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか?

(条件)

・10手で詰んだ

・9手目の36歩は取れる飛にさらに取りをかける手

101-3 上級 NAO 作

ダンシングクイーン 10手

「70年代の洋楽がBGMとは懐かしいね。将棋の調子はどうだい?」

「おかげさまで右へ左へ軽やかなステップを踏んで10手で詰ませたよ。隣り合う2つの筋をA、Bとすると着手した筋は『ABBA、ABBA、AB』の順番だったんだ」

さて、どんな将棋だったのだろうか?

(条件)

・10手で詰んだ

・隣り合う2つの筋をA、Bとすると、着手した筋は“ABBAABBAAB”の順番だった

## 推理将棋第102回出題

担当：NAO

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第102回出題です。はじめての方はどんな将棋だったの？ - 推理将棋入門をごらんください。

解答、感想はメールで2016年6月20日までにTETSUまで (omochabako@nifty.com) メールのお題名は「推理将棋第102回解答」でお願いします。解答者全員の中から抽選で1名に賞品リストからどれでも一つご希望のものをプレゼント！ 1題でも解けたらぜひご解答ください。

短編推理将棋では、前回出題のように簡素な1条件だとヒントが少なすぎて難しくなる面があり、他方4条件以上だと煩雑で条件が覚えにくくなる面があって、2～3条件くらいがちょうど取り組みやすいと思います。さて、今月は面白いテーマの作品が揃いましたので、第102回に因んだ「10手詰2条件」の3題を出題します。

初級はPontamonさんから“フナリ”がテーマの易しい作品。不成と歩成、両方の“フナリ”を手順に織り込みます。

中級はフェアリー短編で活躍中の上谷さんが初登場。最大の“駒移動”を10手詰で実現します。

上級は金少桂さんから、“歩頭”がテーマの作品。如何に多く“歩頭”に着手できるか、謎を解き明かしましょう。

### ■本出題

**102-1 初級 Pontamon 作**  
2つのフナリ 10手

同歩成とはどの地点でどの駒を取るのか、推理しよう。

**102-2 中級 上谷直希 作**  
最遠移動 10手

8マス移動する王手とはどこからどこに移動する手なのか、推理しよう。

**102-3 上級 金少桂 作**  
不当な関係 10手

各々の歩頭とはどの地点か、推理しよう。

**102-1 初級 Pontamon 作**  
2つのフナリ 10手

「10手で詰んだ対局で歩成が2回あったと聞いたけど、本当？」

「歩成りが2回じゃなくて、不成と同歩成の着手があったんだよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・10手で詰んだ
- ・不成の着手があった
- ・同歩成の着手があった

**102-2 中級 上谷直希 作**  
最遠移動 10手

「10手で勝つたらしいね。どんな対局だったの？」

「最後は最遠移動で詰ませたよ。あとは、成駒を連続で動かす手順が双方にあったなあ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・10手で詰んだ
- ・止めは最遠移動(10手目は8マス分動く手)
- ・先後双方ともに成駒を連続して動かした

**102-3 上級 金少桂 作**  
不当な関係 10手

「隣の10手で詰んだ将棋、歩頭への着手がやたらと目立っていたね」

「数えてみたら、“先手の歩頭”への着手が3回、“後手の歩頭”への着手も3回あったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・10手で詰んだ
- ・『先手の歩頭』への着手が3回
- ・『後手の歩頭』への着手が3回



1筋から「12玉 23僧 34僧 45僧」の4枚が斜めに並ぶ形は、攻方 23僧 45僧の2枚が互いの利きを埋め合って、部分的にはスタイルメイトになっています。そうです、「78僧 79僧」を残す形ではなく、「12玉 23僧 34僧 45僧」の形を目指せば良かったのです。作意の 8 手目 12玉と逃げる手は本来なら成立しにくい手ですが、盤上に2枚僧が残っても良いこの最終形のおかげで成立しています。

この形が想定できれば初手 56角の限定打も納得できると思います。56は45僧の斜め左、即ち「56角 23僧 45僧 56僧」で好便に消えてくれる位置なので、56角の限定打が生まれるわけです。残り3枚の持駒僧は先ほど考えた「玉で取る方法」と「僧で取る方法」の組み合わせです。この辺りは初手 56角とは異なり、アイデアだけではなく、試行錯誤が要求される部分です。手順を通して見ると斜線上を駒が移動するだけの「一次的」な手順なのですが、決して単純ではありません。

【短評】

変寝夢さん (※無解)

似たような筋はいくつも考えたのですが、初手 8 9角から離れられませんでした。

占魚亭さん

角の打ち場所さえ決まれば後は易しい。

詰ガエルさん

手が狭いから、何とかなるんじゃないと思って取り組みました。何とか解けましたが、非常に苦勞しました。6手目が盲点でした。

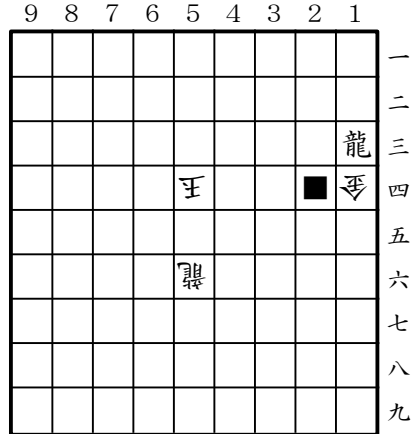
☆6手目が盲点というのはきっと遠角の紛れとの絡みですね。初手 56角に絞れば6手目同玉はほぼ必然ですが、それより遠い位置から角を打って、間を僧で埋めていく手順もかなり強力な紛れだと思います。

たくぼんさん

初手 89角を本命だと思ったが、56とは予想外。

■ 81-2 占魚亭氏作 (正解2名) ※実質1名

協力詰 5手



持駒 金

※■:Imitator

【ルール】 (※Imitatorの動きを[]内に表記)

•協力詰

先後協力して最短手数で受方玉を詰める。

•Imitator (■)

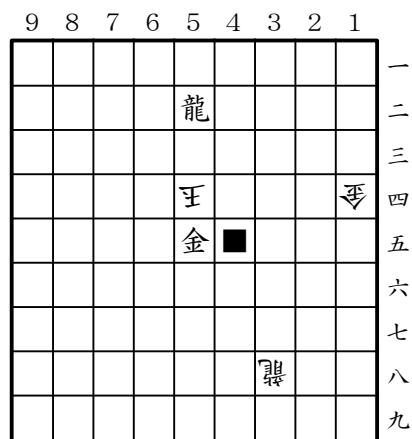
着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。この Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

【解答】

55金 47龍[115] 22龍[124] 38龍[115]

52龍[145] まで 5手

(詰上り)



持駒 なし

【作者のコメント】

不動玉その2。竜と Imitator の動きを楽しんでいただけたらと思います。

【解説】

「夢の詰上り」として誰しも考えたことがあるであろう、龍と金による逆算不能な両王手の詰上り。**Messigny**でも同様の詰上りを実現することは可能ですが、「元の局面に戻す手を禁じる」のような人工的な附則が必要です。一方、本局は **Imitator** を使ってスマートに夢の両王手を実現しており、この最終手だけでも存在価値があるでしょう。

手順は王手を掛けた形から、玉が不動のまま **Imitator** だけ動かして王手のブロックとブロック解除を繰り返し、詰型に局面を導く展開です。これは **Imitator** 作品の典型的な構成なので、解図時は不動玉のパターンを必ず頭に入れてください。本局では、攻方の龍が三段目のままでは役に立たない（例えば 3 手目 53 龍は 55 金が邪魔で **Imitator** が動けず、指すことができない）ので、二段目に持ってくるよう細かく位置を変える手順が眼目になっています。二段目に行きたい攻方の龍と、それをアシストする受方の龍。双方の龍のコンビネーションが楽しい作品です。

【短評】

**変寝夢**さん（※無解）

頭 3 手や龍を横に振る筋は見えていたのですが。そうかもう一回繰り返せばよかったのか。このリフレインが続く筋は **imitator** ではよくある手筋ですね。

**DD++**さん

玉が中空にいる **Imitator** 作品では龍金挟撃が一番詰みやすいというのを前回出題で学んだのでなんとか。とはいえ金寄まで横に挟む形を目指して長考しました。

14 が金なのは何のためなのかいろいろ考えながら解いていたのですが、余詰むわけではなさそうなので、おそらく単に双方龍金で揃えたのを勝手に深読みしただけのようですね。

☆14 の駒はほとんど何でも（攻方馬とかでなければ）良いので、作者の趣味でしょうね。

**たくぼん**さん（※誤解）

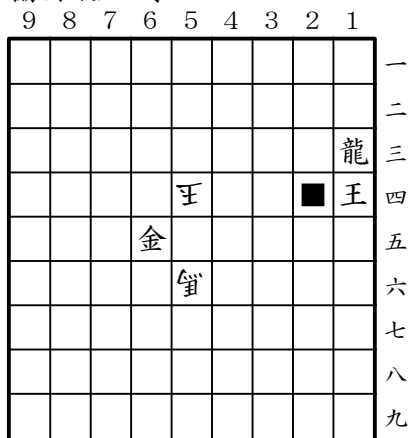
解けたと思ってこの解を書いていたが今見ると 54 玉(45I)で詰んでないですね。時間切れです。

☆たくぼんさんは「24 龍(35I) 45 玉(26I) 55 金

46 龍(16I) 44 龍(36I) 迄 5 手」の解答でした。**Isardam** は詰んでいるのか詰んでいないのか即座に判断できないのが厄介ですね。

■ 81-3 占魚亭氏作（正解 2 名）※実質 1 名

協力詰 5 手

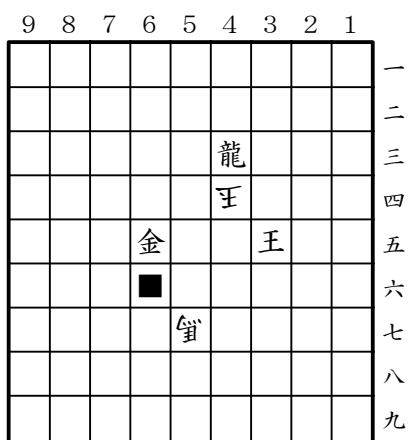


持駒 なし  
※■:Imitator

【解答】

25 王[I35] 57 馬[I36] 43 龍[I66]  
44 玉[I56] 35 王[I66] まで 5 手

(詰上り)



持駒 なし

【作者のコメント】

最終手をやってみたくて図化しました。

【解説】

前局と似た構図。でも前局とは狙いも展開も異なります。

本局の狙いは王が動いての王手。まるで王で王手しているみたいに見えますが、王手しているのは 43 龍。しかも紐付きでない王手です。これに対する 43 玉や 35 玉の応手は **Imitator** によって阻止されているわけですが、何だか感覚が



変になりそうな詰上りですね。

「玉が動いて王手した」と聞くと、私たちは反射的に「開き王手」を思い浮かべますが、本局で玉が動くのは開き王手ではなく、Imitatorの位置を変え、ブロックされていた龍の利きを再活性化する着手です。「開き王手」が遮蔽駒を除去して駒の利きを再活性化すると原理的には同じですが、利きの線上にいない駒が動ける分自由度が高く、手の感触はかなり異なります。

手順も前局とはずいぶん異なります。終始玉が不動だった前局と対照的に、本局では双方の玉が動き、詰型を作ります。特に4手目44玉などは「飛んで火に入る夏の虫」という言葉がピッタリですね。

【短評】

変寝夢さん（※無解）

imitatorの味がプンプン出ています。最終手から創ったのかな。

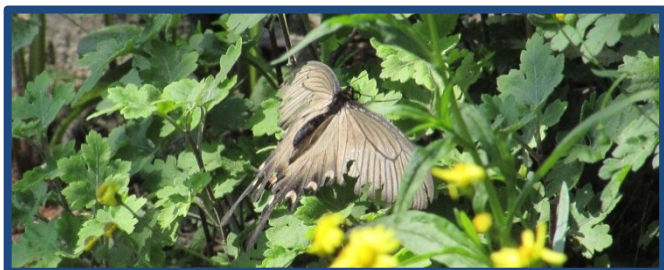
DD++さん（※無解）

23玉、22桂打、33玉、53玉、42玉まで……と最初に思ったのですが、微妙に詰んでない。一筋ずれて43玉32玉型で31なら詰みなんです、こちらは手順が繋がらない。もう1つ詰みに近そうなのが25玉57馬14or24龍45玉という流れなんですけどそっちも詰まない……。

たくぼんさん

王で王手をする順が成立するとは参りました。

☆前局ではDD++氏が、本局ではたくぼん氏が正解したおかげで「実質正解者ゼロ」を免れましたが、次はそうはいきませんでした。



■ 81-4 占魚亭氏作（正解1名）※実質正解者なし

協力詰9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				馬		王			三
									四
									五
									六
									七
				■					八
								馬	九

攻方持駒なし

受方持駒なし

※■:Imitator、53角29香は中立駒

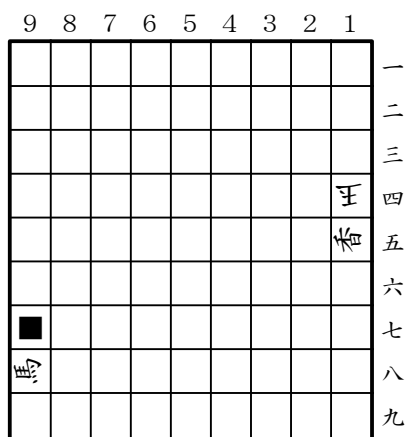
【ルール】

- 中立駒（「▲」あるいは「n駒」）  
どちらの手番でも動かせる駒。  
横向きの字か横にnを付加して表記。  
(補足)
- 8) 中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる（利きが非対称な駒の場合に要注意）
- 9) 中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 10) 中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。
- 11) 中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 12) 二歩禁が適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 13) 中立駒は行き所ない駒にならない。
- 14) 中立駒でも白玉への王手は反則。白玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行う。  
→詳細はWFP61号の「中立駒の紹介」参照。

【解答】

- 23n 香成[I62] 22n 杏[I61] 32n 杏[I71]
- 24 玉[I62] 42n 角成[I51] 14 玉[I41]
- 32n 馬[I31] 98n 馬[I97] 15n 香 まで 9手

(詰上り)



攻方持駒 なし

受方持駒 なし

【作者のコメント】

中立駒と Imitator の併用です。平凡な手順ですが、そこそこ面白く出来たかなと。

【解説】

香が2筋を抑えているので、香筋に角を移動する手を考えてしまうところ。具体的に言うと42角[I57]22玉[I46]…以下、香で角を取る(中立駒は中立駒を取れる)手順がいかにも作意っぽく見えるので、ここから抜け出すのは困難でしょう。

また、作意に到達するには、ある予備知識が必要です。それは玉と Imitator が盤の反対側の端にいと、香一発で詰む場合があるということです。本局の詰上りにおいて玉の左は壁で、右は Imitator の壁になっており、玉は1筋に閉じ込められています。つまり香一発で詰む状態です。この知識があれば、香を動かして角で香を入手する作意順を読むことができます。また、最終手に対し、中立香を取る手、中立香が成って逃れる手は、Imitator に離接する馬がブロックしています。作意では馬は主役ではなく、あくまでお膳立てを整える脇役ですが、香を入手した後で Imitator を遠くに運ぶため大ジャンプするので、意外と目立っていると思います。

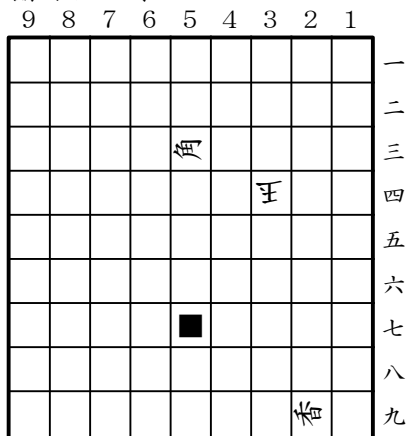
なお、本局で角と香が中立駒になっているのは、成駒で平凡に詰まされる筋を防ぐためです。中立駒はどちらからも動かせるので、詰型が限られます。それを作意の成立に利用しているわけですね。Imitator だけでも解きにくいのに中立駒も入っていて、かなり難解な作品だったと思います。

最後にオマケを一つ。

最初に述べた香で角を取る筋を図化してみました。本局と似せた構図にしていますので、この紛れに嵌って残念な思いをした方は、この図でリベンジしてみてください。

【参考】

協力詰9手



攻方持駒 なし

受方持駒 なし

※■:Imitator、53角29香は中立駒

(解答は本稿末尾に)

【短評】

変寝夢さん (※無解)

9 8 n 馬の味が良いですね。こういった発想が浮かんでいるのは好調の証ですね。ここら辺りは解答者が出るのかな？

DD++さん (※無解)

1を質量-1として、4枚の筋の合計が4、段の合計が7、という条件で詰む形をひたすら模索したのですが、私には見つからず。中立駒の手筋が何かあるのでしょうか。あるいはまさかこの初形から駒取りがある……？

たくぼんさん (※無解)

11に落とす順、1筋に追う順、24(34)成香+21馬などいろいろな詰め方があり紛れが多い。降参です。

☆正直、何の予備知識もなしで本局を解くのは無理でしょう。後半5手くらいなら何とか…という所ですね。

■ 81-5 上谷直希氏作（正解2名）

Isardam協力詰5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
				馬	金				四
				王					五
									六
			龍						七
									八
									九

持駒 角 桂

【ルール】

• Isardam

同種の敵駒の利きに入る手を禁止する。  
玉を取ると同種の敵駒の利きに入る場合は  
王手とみなさない。(タイプA)

(補足)

1) 成駒と生駒は別種の駒として区別する

【解答】

99 角 88 飛 66 龍 58 飛成 57 桂 まで 5手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
				馬	金				四
				王					五
			龍						六
				桂					七
				飛					八
角									九

持駒 なし

【作者のコメント】

なんかこう…もっと綺麗にできそうなんですけど、できないようです。無念。

【解説】

いきなり龍で王手を掛けると、玉が逃げなくてはならないので、龍の王手を一旦龍で受けて、準備万端整えてから再度龍の利きを有効化して仕留める作品。どうやって玉の不動を保つかと

いう主題は同じ作者の 78-10 を思い出しますね。

初形で受方の龍は盤上にありません。角の遠打で飛合をさせて、これを成らせて龍を作ります。角打の場所は 99 で限定。88 角だと 77 飛合とせざるを得ず、57 飛成が反則になります。飛合を出した後、角の利きを遮るように動かすのが巧い手順。これで飛が自由に動けるので、最短で龍を作れます。ついでに龍に紐も付き、一石二鳥ですね。最後は桂打で仕上げ。66 龍の利きを復活させつつ、玉の 45 への逃走を阻止します。もちろん同龍とは取れません。Isardam の禁則です。

マドラシや Isardam で同種の駒を使って暫定的に駒の利きを無効にし、後で本来の利きを有効にする手筋は、返し技に対する返し技のような派手な効果を得られます。攻方の利きを暫定的に封印するという意味では、「一旦利き筋を止めて後に開き王手」と同じ構造を持っており、フェアリーだけでなく、普通詰将棋を含めた多くの短編作品で愛好されるテーマです。本局はこれを限定打・限定合と絡ませ、簡素図に仕上げた完成度の高い作品だと思います。

【短評】

変寝夢さん (※無解)

苦手な isardam。やはり苦手でした。最終2手でいろいろできるのですね。

占魚亭さん

飛成りの受けの上をいく桂打ちで竜の縛りを解除。

たくぼんさん

詰上りが見事ですし、5手全て好手というのも素晴らしい。



■ 81-6 上谷直希氏作 (正解者なし)

Isardam協力自玉スタイルメイト 10手

										一
										二
										三
										四
										五
									王	六
										七
			角							八
						歩			玉	九

持駒 飛金香

【解答】

18 飛 26 玉 59 角 17 角 28 香 68 飛  
48 金 28 角生 49 金 37 桂 まで 10 手

(最終形)

										一
										二
										三
										四
										五
									王	六
						桂				七
			飛				飛			八
				角	金	歩			玉	九

持駒 なし

【作者のコメント】

自由度が高い(ように見える)スタイルメイトを表現したかった。いかにも無理作り。こうでもしないと余詰が消えないのです。

【解説】

これでスタイルメイトと言われても、すぐには分からない最終図。だって、いろいろ動けそうですね? しかも 28 角で自玉に王手が掛かっているようにも見えます。もちろん 28 角は王手を掛けていません。19 玉を取ると 18 飛の利きに 68 飛が晒される反則になるからです。

では最終図を見て、これが紛れもなくスタイルメイトであることを、一つ一つ確認していきましょう。

18 飛は動けません。28 飛は Isardam の禁則。

飛が縦に動く手や、39 歩、49 金、59 角が 8 段目に動く手は、28 角で玉を取られてしまいます。37 角もちろん Isardam の禁則。29 玉は自玉に王手を掛ける普通の反則。28 玉で一瞬助かっているように見えますが、「同飛成」があるので、やはり自玉に王手を掛ける反則。確かに指す手がありません。

作意はどんどん盤上の配置駒を増やしていくので、この最終図が頭がないと、とても指せない手ばかりですね。しかも Isardam 特有の手がいっぱい出てきます。

4 手目 17 角は玉に紐を付ける手。6 手目 68 飛は香をピン止めしつつ、角の動きを制限する限定打。48 金は互いの飛に挟まる駒を 2 枚にして 28 香のピン止めを外する手。8 手目 28 角「生」は最終手に 37 同角を防ぐための不成。9 手目 49 金は 28 角をピン止めする逆王手。10 手目 37 桂は 8 手目が不成のため桂に限定される手。

…とまあ通り一遍の説明をするだけで解説が埋まってしまう Isardam のトンデモっぷり。何とも高密度の手順です。たくさんの駒が残るスタイルメイトは大抵、同じ種類の駒が同じ仕組みで固定されているものなのですが、固定方法の多様さも本局の特長です。とにかく難解で正解者は現れませんでした。

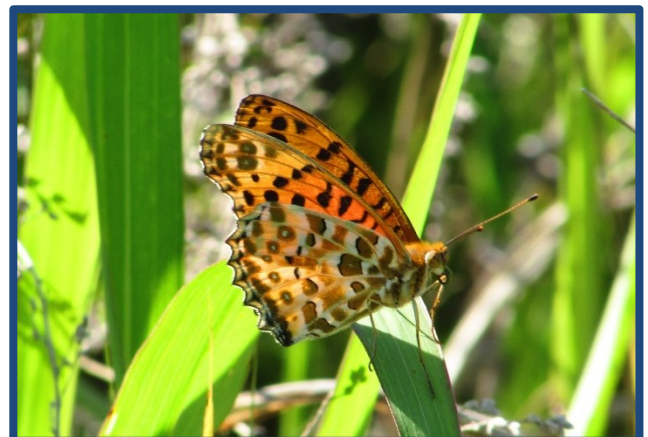
【短評】

変寝夢さん (※無解)

FM で ETMP=4 で解図させて不詰になったので(かもしれんああととは思ってたけど)、ビックリ。これでホッパー系、ライオン系なんか使った日には・・・期待してますよ。

たくぼんさん (※無解)

わかりません。



■ 81-7 上谷直希氏作（正解3名）

禁欲最善詰 21手

									皇	王		一
									兵	香		二
												三
								銀	銀			四
											桂	五
												六
												七
												八
												九

持駒 角 香 歩2

※20手目から非限定あり

【ルール】

• 禁欲

駒を取らない手を優先する。

• 最善詰

攻方は受方なるべく早く詰むよう王手を掛け、受方はなるべく詰まないよう応じる。  
(補足)

いわゆる普通の詰将棋から枝葉（無駄合概念や、駒が余るかどうかで手順に優劣を付ける規則）を取り除き、攻方最短を義務化したもの。攻方最短・受方最長のみが正解で、長手数之余詰は不問。

【解答】

12角 11玉 23桂生 同金 21角成 同玉  
22香 11玉 12歩 22玉 33銀左成 21玉  
22歩 同金 11歩成 同玉 22全 同玉  
23銀成 21玉 22金 まで 21手

(詰上り)

										皇	王		一
										兵	金		二
											全		三
													四
													五
													六
													七
													八
													九

持駒 なし

〔変化〕

- (1) 8手目 12玉は 13歩 11玉以下早詰
- (2) 12手目 13玉は 23全以下早詰。  
(14歩は二歩で打てない。)
- (3) 20手目は 11玉でも良い（非限定）

〔紛れ〕

- (A) 7手目 22歩は 11玉 12歩 22玉 33銀左成（ここで不成なら詰むが手数手数超過）  
13玉 14香 以下不詰。12歩のところ 12香としても 22玉 33銀左成 13玉 14歩以下不詰。
- (B) 11手目 33銀左生、33銀直成、33銀直生及び 19手目 33銀成、33銀生、23銀生はいずれも手数超過
- (C) 21手目は 12金でも良い（非限定）

【作者のコメント】

香先香歩。二歩禁を避けるのではなく目指すほうが良いというのは珍しいかもしれません。

【解説】

打っては捨てるリズムのある手順は、翻弄物の味わい。そんな軽快な手順の流れの中できらりと光るのが7手目は22香です。なぜ22歩ではないのでしょうか？

それは変化(2)と紛れ(A)を比べると明確になります。先に香を使うと、後で14歩が二歩になるため打てません。打てないおかげで取る手以外の王手がなくなり簡単に詰むわけです。逆に香が手元にあると、1筋で歩を先に打っても香を先に打っても、13玉と逃げられた時に残った方で王手できるので、金を取ることができません。落ち着いて考えれば正解できると思いますが、「二歩禁誘致」という珍しい構想に「香先香歩」が絡む上、7手目を22歩としても手数を余分に掛ければ詰むので、かなり間違いやすいところだと思います。

本局はルールを「最善詰」としており、長手数で詰む紛れをすべて「手数超過」で割り切っています。余詰防止のためのゴタゴタした（あまり本質的でない）配置を省略できるのがこの「最善」指定の利点ですね。

ただし本局には非限定が2箇所残っています。20手目と21手目です。本作品展では唯一解・駒余りなし（正確には駒余りと駒が余らない順に優劣をつけない）を基本としていますが、それに外れる場合でもその旨を明記していれば、それもルール設定の内として扱います。

【短評】

変寝夢さん

わざと二歩にするのが狙いかな。  
最善詰の最終2手の非限定はあまり目くじら立てない方がいいと思います。  
最終2手前は玉方の最終手なので通常の最終手余詰等と同じ考え方で良いと思います。

☆普通詰将棋のルールの問題点は、完全か否かの判定が一意に定まらないことです。作品の完全・不完全は時と場合によって、あるいは人によって変わります。フェアリーはただでさえルールの混乱を招き易いので、曖昧さを残して無駄な手間を増やすより、機械的に判断できる基準を用いる方が良いと思います。唯一解の原則は不便に感じるかもしれませんが、これは慣れの問題です。筆者も協力系フェアリーで非限定許容から完全限定への転換を経験していますが、完全限定が要求されても当初思ったより表現できる幅が広いと感じています。  
最善詰の実用性についてはまだ様子見という段階ですし、判断を急がず、長い目で利点と欠点を見極めたいと思います。

占魚亭さん

玉と金を戻す。香打ちのタイミングと質駒の金の取り場所が考え所でした。

井上順一さん

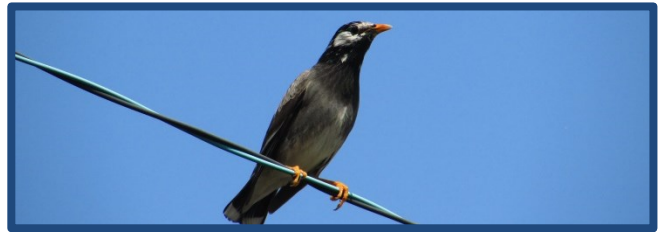
作意は21手なので変別か。12手目の13玉で21玉と逃げてくれると21手になるが、13玉に対して早い詰が見つからない。  
7手目歩打ちだと12玉とされて詰まないの  
で、先に香を打つところは作意っぽいのだが。

☆井上さんは11手目33銀左生として手数超過。

「成」は上部に逃げられる不利感があるので「不成」としたくなりますが、「最善」指定により不正解となります。

たくぼんさん

44銀の存在が実に広い意味を持ちますね。禁欲の面白さですね。



■ 81-8 変寝夢氏作 (正解6名)

リパブリカン協力詰5手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
			香						四
									五
									六
		銀			金				七
									八
									九

攻方持駒 なし  
受方持駒 なし

【ルール】

•リパブリカン

最終手を指すと同時に任意の空きマスから一つ選んで玉を置き、詰んでいる局面を作る。(補足)

- 4) 双玉等において詰める対象でない玉は通常の玉と同じく、最初から最後まで盤上に存在する
- 5) 詰める対象の玉は「盤上にあるが見えない」わけではなく、詰むときに盤に出現する。従って玉がどこかにいる前提での着手の合法・非合法の判定は行わない。**ただし、最終手では玉を置いた後の配置で合法局面かどうかの判定を行う。**(※今回、ルール説明に赤字の部分を追加しました。理由は81-12の解説で説明します。)
- 6) 単玉の場合最終手を除き王手義務はない。自玉系のルールのように、詰める対象の玉と王手義務の対象となる玉が異なる場合は、王手を掛けるべき玉に対する王手義務がある。

→詳しいルール説明や例題はWFP92号「リパブリカン詰の紹介」を参照のこと。

【解答】(※カッコ内に玉の出現位置を示す)

56銀 45金 同銀 64馬 56金(+55玉) まで5手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
			金						三
			王	銀					四
			金						五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒なし  
受方持駒なし

【作者のコメント】

詰め上がりが見えていますね。

【解説】

詰型を作ってから玉を置くという「リパブリカン」の登場です。WFP92号で作者が紹介されたばかりのルールで、本局はその入門用作品。作者の言う通り、出題図をじっと眺めていると、55玉を頭金で詰める筋は自然に見えてくるでしょう。後はその形に向かって手順を整理するだけです。

この形を作る手順中に銀が55に利いたり、馬が55を通過したりしていますが、リパブリカンは「玉はあるけど見えない」ではなく「本当に玉がない」ルールなので問題はありません。玉がないので王手義務がなく、非限定を消すのが難しそうですが、本局では受方持駒制限が手順限定に役立っています。

【短評】

占魚亭さん

いいウォーミングアップになりました。

井上順一さん

受方持駒なしなので、金を取るしかない。

☆井上さんには出題時「受方持駒なし」の記述漏れを指摘していただきました。ありがとうございます。

DD++さん

練習問題としてありがたい問題。

詰ガエルさん

これは見えやすかったです。

たくぼんさん

金の銀の組み合わせはやはりこの形ですね。1番目には最適。

■ 81-9 変寝夢氏作 (正解4名)

リパブリカン協力自玉詰 4手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王		一
									二
			馬						三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角

【ルール】

• 協力自玉詰

先後協力して最短手数で攻方玉を詰める。

【解答】

76角 41玉 85角 73金(+74王) まで 4手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					王				一
									二
			馬						三
			王	馬					四
		角							五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【作者のコメント】

金銀の効率の良さはすごいですね。

【解説】

自玉のない自玉詰。リパブリカンで協力自玉詰を作るとこうなります。ただし、相手玉は存

在しているので、攻方王手義務は「あり」のままです。

本局は単なるルール説明用の例題ではなく、重要な手筋が登場します。それは自玉を合駒代わりに使う手筋です。最終手 **73** 金はまるで王手放置のように見えますが、最後の1手は自玉を置いた状態で合法性を判定するので、ちゃんと王手は防がれています。詰上り自体は前局の逆バージョン。今度は自玉が金銀で詰まされていますね。

自玉を合駒代わりに使って良いかどうかは **WFP92** 号の紹介記事や、出題時のルール説明では必ずしも明確ではなかったですし、作者から何題か例題に回しても良いと言われていたので、この作は例題として出した方が良かったかもしれません。そうすれば **81-10** や **81-11** にももっと解答が集まっていたでしょう。

【短評】

占魚亭さん

64 銀を活用して攻方王を詰ますには頭金。

詰ガエルさん

玉発生で合駒代わりにするのは盲点でした。

たくぼんさん

最後出てくる王で角筋を遮るとは、こんなあり～とあってしまった。

☆ルールは説明不足気味でしたが3名の解答者が意を汲んで正解を送ってくださいました。さすがです。

■ 81-10 変寝夢氏作 (正解3名)

リパブリカン協力自玉詰 4手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
			馬							五
										六
				王						七
										八
										九

持駒 飛2

【解答】

51 飛 52 桂 53 飛 44 金(+55 王) まで 4手

(詰上り)

										9
				飛						8
				科						7
				飛						6
						王				5
										4
										3
										2
										1
										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし

【作者のコメント】

4 4 金の間接的な王手回避が狙い。4手で持駒2枚なので考えどころはないですが。

【解説】

自玉を合駒代わりに使う手筋の第二弾。

前局は金を支える銀が最初から盤上に配置されていたのですが、本局はそれも合駒で発生させます。このとき、支え駒が弱い桂合となっているのが心理的な盲点。相手玉が七段目にいるので、九段目に自玉を置きたくなる心理も働きますし、予想しづらい詰上りだったのではないのでしょうか。

前局があくまで「例題」だったのに対し、本局はその心理的効果によって立派な「作品」になっています。

【短評】

占魚亭さん

リパブリカン 5 作の中で最後に解けたのが本作。角金で詰ますと思っていたので、この詰み形を思いつくまでかなり時間がかかりました。57 玉配置の意味づけを考えるのがポイントでしたか。

たくぼんさん

こっちからかよ～～

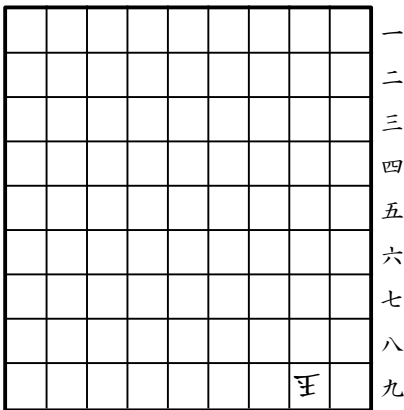
☆今回のリパブリカンの中でこれが最難関だったことが短評から伺えます。



■ 81-11 変寝夢氏作 (正解 5名)

リパブリカン協力自玉詰 4手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



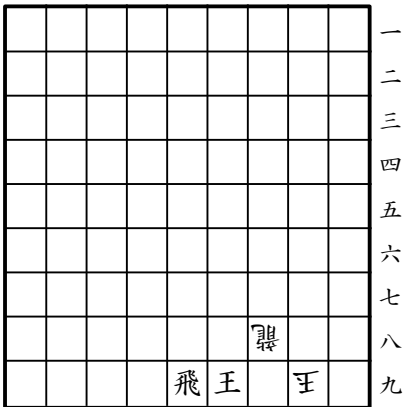
持駒 飛銀

【解答】

59 飛 39 飛 38 銀 同飛成 (+49 王) まで 4手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 なし

【作者のコメント】

最終手の意外性が狙い。  
素抜きじゃないんですね。

【解説】

自玉を合駒代わりに使う手筋の応用編。

最終手 38 同飛成は、一瞬自玉への王手に見えますが、途中で攻方玉を置けば王手にはなりません。玉を合駒ではなく素抜きの防止に使うわけです。

もちろん最後の1手までは攻方玉は盤上にいないわけですから、初手 59 飛は王手ですし、2手目 39 飛合は逆王手ではありません。

59 飛は自玉の逃げ道を塞ぐ限定打。裸玉の初形と合わせ、リパブリカンというルールを紹介したいときにはぴったりの作品だと思います。

【短評】

占魚亭さん

第一感は1九地点の雪隠詰だったが、ギリギリ詰まない。飛打ちにヤケクソで飛合を試したら一気に氷解。

☆雪隠詰というと「27 飛 28 金 18 銀 39 玉 (+19 王)」のような筋でしょうか。普通なら考えもみませんが、一概に「ない」とは断言できないのが怖いですね。

井上順一さん

辺が舞台だと、なんとか詰上がりが想定できる。ほかの4手ならなんとかかなるかもと、手をつけてはみたのですが。

詰ガエルさん

81-9を解いた後だったので、こちらはすぐに解けました。

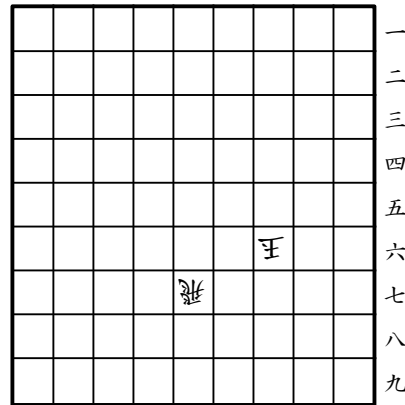
たくぼんさん

初手限定打がなるほどという詰上り。

■ 81-12 変寝夢氏作 (正解 4名)

リパブリカン打歩協力自玉詰 4手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 桂香

【ルール】

• 打歩

打歩詰以外の詰手を失敗とする。(単純打歩)。

【解答】

48 桂 35 玉 38 香 27 歩(+37 王) まで 4手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
						王			五
									六
				飛		王	歩		七
					桂	香			八
									九

持駒 なし

【作者のコメント】

直接王手ではない最終手が狙い。

【解説】

確かに歩を打つての詰みですが、歩で王手を掛けていない間接的な打歩詰。敢えて名前を付けるなら「ソッポ打歩」でしょうか。

この「ソッポ打歩」は性能変化系のルールやホッパー系の駒を使った作品で時々見ることができますが、リパブリカンでも実現可能というのがちょっとした発見です。

自玉の打歩詰というと、とかくごちゃごちゃした配置になりがちですが、簡素形であっさりを実現しているのも本局の価値でしょう。

【短評】

占魚亭さん

「リパブリカン詰の紹介」を読み直してみたら、例題2の解説にヒントを発見。なるほど、確かに打歩詰。

たくぼんさん

打歩詰という感じのあまりしない詰上り。

DD++さん (※81-9~81-12 へのコメント)

4 題まとめて、ルールが何かおかしい予感。補足ルール 2 から「ただし最終手に限り玉が出現している前提で合法性判定を行う」とかそんな感じのルールが抜け落ちたのでしょうか？

☆DD++さんは最終手が非合法局面でも良いという設定で解答されました。各々の解答は以下の通りです。

81-9

14 角、23 銀合 (+31 玉) まで早詰？

81-10

77 飛、67 金合、58 飛、同玉 (+59 玉) まで？

81-11

49 飛、39 金合 (+19 玉) まで早詰？

81-12

48 桂、27 玉、29 香、28 歩合 (+17 玉) まで？

☆元の紹介記事だと誤解を受けそうな表現(例: 「可能局面かどうかは考慮しなくてもいい」)があったので、出題時にルール説明を結構付け足したのですが、まだ不十分でした。そこで、今回は最終手の合法手判定について赤字でルール説明に追加しました。合法局面の判定は「逆算可能性」については考慮せず、あくまでその局面単独で基本的な条件(駒の数と種類が正常、行き所のない駒がない、二歩がない、手番側の玉に王手が掛かっている)を満たしている場合に合法とします。また、これとは別件ですが、紹介記事に書かれた範囲では余詰と解釈できるため、出題を保留した作品もあります。このような状態ですので、リパブリカンについては作者から正確なルールの定義と追加の説明がなされるまで、無難な(現在のルール説明でも疑義が生じない)作品のみを出題したいと思います。

■ 81-13 変寝夢氏作 (正解 5 名)

レトロ協力詰 -2+1手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
						皇			五
							王		六
							飛		七
									八
				香					九

持駒 金

【ルール】

•レトロ -m+n 手

m 手逆算して n 手で詰む手順を求める。

【解答】

46 玉(+36馬) 69馬 / 36金 まで -2+1手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
				皇					五
					王	金			六
						馬			七
									八
			馬	香					九

持駒 なし

(逆算図)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
				皇					五
					王				六
						馬			七
									八
			馬	香					九

持駒 金

(出題図への手順) 36馬 同玉 まで 2手

(詰手順) 36金 まで 1手

【作者のコメント】

69馬が狙いですが、見え見えかな。

【解説】

本誌に「レトロ」が登場して以来、いつ出るかいつ出るかと待たれていた(?)、成駒を発生させる逆算の作品が登場。攻方王手義務によって36銀を発生させる逆算は除外され、王手のできる36馬の逆算に限定されます。

成駒を発生させたら、生駒に戻したくなるのが人情ですが、成駒のまま使うのが却って意外かもしれません。

配置を見ると37銀は飛を発生させる逆算、56香は5筋で金を打つ詰型への逆算を防いでいます。つまり、この2枚の配置は余逆算防ぎの配置なのですが、玉を狭く見せて紛れを誘う役にも立っています。

本局の作意手順を順方向になぞっていくと、金を打てば終わりなのに馬を捨ててしまったというストーリーが浮かびあがるので、「レトロ」は「待った」をパズル化した出題形式だという説明が納得できますね。

【短評】

占魚亭さん

上の方に目が行き、数日かかりました。

DD++さん

レトロに初挑戦。金で攻める場合、玉頭や玉腹の銀は厄介だけどコビンにいるのは全く怖くない、というわけですね。

たくぼんさん

59香をずっと見てたら見えてきた詰上り。

でも結構悩みました。

☆詰型自体は基本的なものですが、意外と皆さん苦戦されているようでした。後から考えると「何でこんな筋が見えなかったんだ」と思うので、結構悔しいんですね、このパターンは。

■ 81-14 変寝夢氏作 (正解5名)

協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
					王	馬			六
									七
					歩				八
					煙				九

持駒 なし

※49角は中立駒

【解答】

38n角 16n角成 34n馬 45金  
同n馬 54n馬 57金 まで 7手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
				馬					四
									五
				王		歩			六
				金					七
				歩					八
									九

持駒 なし

#### 【作者のコメント】

中立角の動きが狙い。

#### 【解説】

反時計回りに角が半回転するミニ趣向。

中立駒は両方の手番が使える分、通常考える半分の手数で済みます。玉の移動も必要ないので、余詰の心配も少なく済みますね。もちろん、合駒の紛れはありますが、2手目に合駒する紛れは35歩の存在によって防がれています。

作意は35歩を避けて、少し大きめの軌道を角が辿るのですが、この軌道を取ることで角が成るタイミングが限定されています。中立駒はその手番側の駒とみなした時に成れる場合に成れるのですが、この軌道では2手目しかそのタイミングはありません。

今の所中立駒で本誌に作品を発表しているのは変寝夢氏と占魚亭氏だけですが、fmza.exeでも中立駒は扱うことができるので(少し使い方が難しいかもしれませんが)皆さん色々試してみてください。

#### 【短評】

##### 占魚亭さん

n角(馬)を転回。

n角を使えば簡単に軌跡曲詰が作れそう？

##### 井上順一さん

頭金で詰むようにn馬を54まで持って行く。

##### DD++さん

中立駒問題としては手がつけやすくてうれしい。

##### たくぼんさん

あぶりだし~「i」フェアリーのあぶり出しはもっとあってもいいかも。

☆厳密には「i・」ですね。点がないと馬が小さく回ることができます。

#### 【総評】

##### 変寝夢さん

81-1が残念でした。81-7は誤解かもしれませんが、曲がりなりに詰んだのでホッとしています。

それにしても解説が大変そうですね。

☆変寝夢さんには、ルールに関する説明や例題を盛り込んだ記事をもっと書いて欲しいと思います。担当一人では限界です。

##### DD++さん

リパブリカンで片方は実在玉の場合、顔面アタック以外にもいろいろルール上の問題点があるようです。もっと早く手をつけていたらルール質問とかできたのですが、先にImitatorを頑張りすぎました。

##### たくぼんさん

FairyTopIX2015の準備等で解図時間不足…2ヶ月もあるんだからと言われそうですが大体1ヶ月以上は放置してますのでねえ。要反省です。

☆筆者からも近況報告を少々。

久々にNoCheck5.exe(非王手系協力詰検討用プログラム)を改版しました。最近、不具合の指摘と要望をいただいたからです。もう何年も放置状態でしたが、今でも使って貰えているというのは、やはり励みになりますね。でも、久々で勘が鈍っていたのと、開発環境の移行のせいで最初は少々とまどいました。ソースコードもぐちゃぐちゃで、いつかちゃんと整理したいと思っていますのですが…

一方Worst1.exeの方は、機能追加時にバグも追加してしまいました。時間を掛けて対処すべき種類のバグなので、最新版をお届けできるのは先になりそうです。



## 強欲な世界 パート7解答発表

全回のパート7解答者数が5名と横ばい。難解ではないと思うのですが・・・

【解答者】(敬称略)

江市 滋、橋本孝治、井上順一、占魚亭、一乗谷酔象

たくぼん作 強欲協力詰 77手

										9	8	7	6	5	4	3	2	1
				龍	と	ス			と	一								
				歩	歩	と			香	二								
			ス						香	三								
			桂	銀	歩		と	銀	歩	四								
			歩						香	五								
			桂		と		香	歩	香	六								
			歩						香	七								
			金	と	桂			歩	歩	八								
			龍	歩			香		角	九								
				桂		王	銀	銀	角	九								

持駒 なし

48 銀直 58 玉 49 角 同玉 38 角 58 玉  
 49 角 同玉 38 銀 48 玉 37 銀 47 玉  
 36 銀 同玉 35 と 27 玉 26 金 同玉  
 25 と 同玉 26 歩 同玉 35 銀 17 玉  
 26 銀 16 玉 25 銀 15 玉 24 銀 14 玉  
 13 銀成 同玉 12 金 同金 同と 同玉  
 22 金 同玉 32 と 同玉 52 龍 同と  
 33 歩 同玉 44 と 同玉 53 銀生 54 玉  
 64 銀成 同玉 63 桂成 74 玉 73 圭 同玉  
 85 桂 62 玉 52 と 同玉 53 歩 同玉  
 54 歩 同玉 55 歩 同玉 67 桂 66 玉  
 77 と 同玉 87 金 67 玉 77 金 同玉  
 97 龍 76 玉 67 龍 85 玉 65 龍 96 玉  
 76 龍 97 玉 87 龍 まで 81 手

★ 本作の創作動機はラストの不思議な感覚の収束です。協力詰で最後龍が普通に動き回る展開はちょっと意表をつく感じでしょうか。しかしそこに至る手順があまりにもあっさりしていて序の角の消去位しか見所がないので解答者の反応もイマイチでした。

詰上図

										9	8	7	6	5	4	3	2	1
										一								
										二								
										三								
										四								
										五								
										六								
										七								
										八								
										九								

持駒 なし

江市 滋

収束(77とあたりから)は不思議な感覚もあって、この条件ならこういう収束が成立する、という主張も感じられる。反面、中盤や序盤は、手なりに進む感じで、主張が薄い気もする。断片的な要素(29角の消去とか、銀の直進とか)がもう少し強調されても、とも思った。

橋本孝治

29角が邪魔駒だと分かるまで、しばらく下辺をうろうろしていました。ここさえ乗り切れば後は比較的素直な手順。玉と龍が一定の距離を取る収束は少し奇妙な感覚で、強欲らしいと思います。

井上順一

最初に左辺に迫る順も考えさせられたが、37銀からはスムーズに進んで、最後はきれいに煙る。

占魚亭

特に難しい所はなかったです。気持ちのいい捌きを楽しみました。

一乗谷酔象

序の角銀の捌き方が難しいが、そこを乗り越えたと一気に解けました。

★ 皆さん短評に困っている様子が見えますね。

★ 強欲な世界 PART 8 の出題は P28 です。



■ 47-02 神無八級 協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				香		王	歩		一
				香	香				二
						玉			三
						香			四
						香			五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 歩  
受方持駒 なし

41 香成 同玉 42 歩 31 玉 44 玉 33 香  
同香生 42 玉 43 香 まで 9手

(詰上り図)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				香			歩		一
				香	王				二
					香	香			三
					玉				四
						香			五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

たくぼん—こちらは素直な展開。とはいえ香合するために香を捨て歩に打ち替える協力詰らしい手順。

☆前局で述べた通り、こちらが本命でした。01の余詰筋を消すために、52 飛・51 銀など、配置がやや苦しくなっていました。

七郎—こちらは正真正銘、香を渡す筋でした。持駒歩を43に置いて3手目を不成にするのも一案ですね。

☆歩生は全く考えませんでした、なるほど、味付けとして一案ですね。

井上順—持駒の歩を香に変えるための、香と歩の打ち替え。

占魚亭—打ち換えて香の渡し合い。上手い。

今川健—敵に塩を送ったのは誰？ 王のソッポ行きが巧妙。

☆謙信が信玄に、でしたか。受方に香を渡し、その香で詰め上げる狙いは、うまく行ったと思います。

■ 47-03 たくぼん 協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
						歩			四
						王			五
									六
						歩	玉		七
								角	八
									九

攻方持駒 桂  
受方持駒 なし

48 桂 同金 37 王 38 金 同角 67 玉  
59 角 57 玉 67 金 まで 9手

(詰上り図)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
						歩			四
									五
						金	王	玉	六
									七
									八
							角		九

持駒 なし

作者—急ごしらえで1作です。後手持駒制限があります。(狙い実現には仕方



なし?)

☆急造作ということですが、内容はちょっとしたものです。

作者一わざと逆王手を掛けさせて、すぐに取り返らずにワンクッションが狙いです。ちょっと変わった狙いかな。

☆3手目は同玉と取ることができるのですが、それでは手が続きません。

今川健一—38 金の移動合に拍手、37 王の開き王手も好手です。

占魚亭—質駒の金の運び場所がポイント。少し悩みました。

☆3手目 37 王として、38 地点で金を取らせるのが肝要です。これで攻方角が活用でき、攻方王も生かした詰上りとなります。

七郎—金が自分に寄ってくる……うん、これは現実じゃない。フェアリーだ。

☆フェアリーならではの展開でした。入門作として最適ではないでしょうか。

■ 47-04 神無七郎 協力詰 71 手

							馬		銀	一
				金	歩	歩	歩	歩	料	二
				歩	王				と	三
								歩	歩	四
			馬	馬	玉		馬	馬		五
					香	香				六
										七
					歩					八
					入					九

攻方持駒 なし  
受方持駒 香2

35 王 33 玉 45 王 35 香 同香 34 香  
同香 43 玉 33 香成 同玉 39 香 同と  
38 香 35 香 23 と 43 玉 35 王 45 香  
33 と 同玉 45 王 38 と 37 香 同と

36 香 43 玉 35 王 45 香 同香 44 香  
同香 33 玉 43 香成 同玉 47 香 同と  
46 香 33 玉 45 王 35 香 同香 34 香  
同香 43 玉 33 香成 同歩 44 香 32 玉  
43 香成 23 玉 33 成香 同玉 39 香 38 香  
同香 37 と 36 香 35 香 34 歩 43 玉  
35 王 32 玉 43 香成 同玉 47 香 同と  
33 歩成 同玉 45 王 43 玉 33 香成  
まで 71 手

(詰上り図)

							馬		銀	一
				金	歩		歩	歩	料	二
				歩	王	杏			と	三
								歩	歩	四
			馬	馬	玉		馬	馬		五
										六
						入				七
						歩	香			八
										九

持駒 なし

作者一と金を剥がさずに逆用する手順が狙い。読みの要る作だと思います。

☆玉同士が向かい合い、攻方王の背後に香があるという構図は、01 や 02 を挙げるまでもなく、比較的ありふれたものです。そこから複雑な手順を紡ぎ出すのが、七郎氏の手腕です。

占魚亭—持駒制限があるとはいえ一筋縄ではいかず苦戦。と金を 47 地点に移動させた後、もうひと働きさせる展開に唸りました。

☆まずは、香打～香合を交えながら、49 とを 47 地点に誘導します (36 手目 47 同とまで)。

今川健一—何時もながらの巧妙さ、七郎さんの構想力に脱帽。遠香打に香の中合には気付いても、それから先の終局図が浮かばない。数日間、捻りまわして 36 香と 38 香の 2 本立て? に到達。

☆次に、38 香(55 手目)～36 香(57 手目)と、3 筋に 2 本の香を設置します。最後は、47 同と(66

手目)でこの2本の香の利きを通し、33香成までの詰みに至ります。

今川健一ー好きと暇とで3日間、ようやく解けた?ぞ、草臥れました。出題時に「力作」との表示があり、「なるほど」と納得の好局です。

たくぼんーと金を捨てるタイミングが難しかったです。49との存在でこの順が構築できるとは素晴らしい。

☆手順の骨子だけ抜き出すと単純そうにも見えるのですが、途中の合駒や玉移動も複雑で、読み切るのは大変です。いつもながら、難解巧妙な作品でした。

### 【総評】

七郎ー今回は投稿が少ないのが残念。開き王手の元を「玉」に限定したので作りにくかったのでしょうか。

☆単に「開き王手」くらいが良かったのかも知れませんか。

今川健一ー最近、歳のせい?で、思考の持続力が減退。とてもフェアリーの問題を解くまでの気力は起こらず、です。でも、Fairy of the Forestだけは解きたいなで頑張りました。04の七郎さんの問題では幾度も匙を投げましたが、解けた今の気分は最高。これで次回も頑張れるかな?です。

☆ありがとうございます。お疲れ様でした。今後もよろしく願います。

たくぼんー七郎さんの作品の創り方を聞いてみたいものです。

☆全く同感です。

## Fairy of the Forest #48課題発表

- 2016年05月20日：課題発表：(協力詰)  
風船図式(盤周に配置駒なし)
- 2016年07月15日：投稿締切
- 2016年07月20日：出題
- 2016年08月15日：解答締切
- 2016年08月20日：結果発表

### ■ 課題発表

今回の課題は「風船図式」とします。はっきり言って創棋会の課題のパクリですが、5×5内という条件は付けません。

協力詰でこの制約がどれだけの意味を持つのか、探索していただきたいです。

(投稿先)

→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

占魚亭さん Andernach 協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
								皇	五
							皇	王	六
									七
								馬	八
								馬	九

持駒 金桂

Andernach (アンダーナッハ) ルール：

駒取りを行った駒（玉を除く）は、その場で相手の駒となる。

本図の場合、例えば27金と王手したとき

- 1) 同玉は向きが変わらず後手27玉のまま
- 2) 同香不成は向きが変わり先手の27香に  
\*棋譜上は 同香不成転 と転を付けます
- 3) 同香成、同角成（不成）は向きが変わって先手27成香（馬、角）になりますが、いずれも玉が取られてしまうので指せません。

協力詰（ばか詰）：

先手後手協力して、最短手順で後手玉を詰ます。

初登場の Andernach (アンダーナッハ) ルール。ルールを変えるのはチェスが本家で、フェアリーチェスと呼ばれています。ルールを変えた詰将棋も、それにちなんでフェアリー詰将棋と呼びます。Andernach は、ドイツ風の名前から想像できるように、これもチェスから導入されたルールです。

あまり見慣れないルールで、名前もなんとなく難しそうと敬遠された方も多いと思いますが、駒取りした駒は向きが変わって相手の駒になるというシンプルなルール。本作は Andernach ルールの特徴がよくでた作品なので、初めての方はこの機会に覚えてしまいましょう。詳しくは作者によるルールの紹介 Andernach (アンダーナッハ) についてをどうぞ。(注1)

チェスから来たルールはキルケとかマドラシとか名前を聞いてもルールを想像できないので、とっつきにくいことが多いですね。Andernach もルールを想像しやすい名前（寝返り将棋とか）になれば、普及しやすいような気がするのですが。

Andernach では、捨駒をして取らせると、取った駒の向きが変わって自分の駒になるので、なるべく強い駒に取らせるのが有利です。27金、同角転は王が取られてしまい指せないのので、初手は28桂でしょう。同角成転となれば、強力な馬がこちらの駒になり28に出現します。

その出現したばかりの強力な馬を38馬、17玉、27馬！と捨ててしまうのが強烈な妙手。馬がなくなっても、同角不成転で詰方27角が出現するので、18金まで詰ますことができます。

28桂、同角成転、38馬、17玉、27馬、同角不成転、18金 まで7手

詰上がり図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
								皇	五
							皇		六
							角	王	七
								金	八
									九

持駒 なし

作者 「角の成転・不成転を入れたものの一本道なので、ギリギリ及第の入門作でしょうか。」

**Andernach** が初めての人にはかなり大変。簡潔な形から、わずか7手に角の成転、不成転が両方登場するのはおもしろく、**Andernach** ルールの入門にぴったりの好作です。ルールだけ見てスルーされた方、解けなかった方も上の手順のアニメーションを見て、**Andernach** のおもしろさを楽しんでください。

それでは、みなさんの感想を。 解答到着順です。

山下誠さん： 玉を1七に誘って2七馬が妙手順。簡単そうに見えたのに長考してしまいました。

長谷繁蔵さん： カピタン26は堪忍してください。普通の協力詰だったら挑戦したい。

★まずは手順を鑑賞してお楽しみください。  
普通の協力詰の投稿もお待ちしています。 >  
みなさん

波多野賢太郎さん： このルールに慣れるには最適の問題だと思います。3八馬から2七馬がウマイ活用ですね。

池田俊哉さん： 初手はこれしかないところだが、38馬に対して合駒を考えて少し悩む**Andernach** ルールの入門編としてはシンプルで良い

たくぼんさん： 角の成と生の競演ですね。簡単そうで意外と手こずるそんな感じでしょうか

小山邦明さん： 詰方の駒2枚を盤面に発生させての収束形を考えました。

S. Kimura さん： 何度考えても分からず、fmzaに解いてもらいました。香と馬で詰ますことばかり考えていたため、27馬に気づきませんでした。

占魚亭さんのルール紹介ページで、「どうしてこの名がついたのか私は知りません」とあり

ましたが、以下のページにチェスにおける**Andernach**の由来が書いてあるようです。  
[https://en.wikipedia.org/wiki/Andernach\\_chess](https://en.wikipedia.org/wiki/Andernach_chess)

私が若いころ見たフェアリーチェスの本には載っていませんでした。これを見ると1993年にできたルールなんですね。チェスだと敵味方で駒の色が違うので、二組用意しないといけないかも。

占魚亭さん（作者）： 今回の出題をきっかけに、1人でも多くの方に**Andernach**に興味を持ってもらえたら嬉しいです。

占魚亭さんの作品は、下記でも紹介されていますので、興味を持った方はどうぞご覧ください。

・**Andernach** ばか詰入門・再録（注2） 再録  
（2）（注3）（占魚亭残日録）

隅の老人Bさん： 先ずはルールを熟読そして熟考。これでどうかな？  
お見事、正解です。

ハマGさん： 詰形が見えずアレコレ試しているうちに偶然解けました。

-----  
カピタン展示室No. 26 解答：10名 全員正解

池田俊哉さん S. Kimura さん キリギリスさん 小山邦明さん 隅の老人Bさん 占魚亭さん たくぼんさん 波多野賢太郎さん ハマGさん 山下誠さん

-----  
（注1）

**Andernach**（アンダーナッハ）について  
<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/kapitan/kp048.htm>

（注2）

<http://d.hatena.ne.jp/sengyotei/20140606>

（注3）

<http://d.hatena.ne.jp/sengyotei/20140721>

# 推理将棋第100回出題解説

担当：NAO

出題：平成27年3月23日

解答締切：平成28年4月20日

第100回の節目の出題は、「10手詰の難度ゼロ狙い」2作と100回記念の中編1作。意外な難問もありましたが多数の解答をいただきました。

100-1 初級 渡辺秀行 作  
53駒成の謎 10手

「昨日の将棋10手目に詰んで終わったんだって？」

「6手目以降に53に駒を成る王手を見たんだけど、謎な手だよなあ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・10手で詰んだ
- ・6～10手目に、53へ駒が成る王手があった

出題のことば (担当 NAO)

53に成る王手は先手か後手か、その応手も推理しよう。

追加ヒント

先手の▲53角成には後手が△同飛と応じる。

推理将棋100-1 解答

- ▲7六歩 △5二飛 ▲3三角不成 △6二玉
- ▲4二角不成 △6六角 ▲5三角成△同飛
- ▲5八玉 △5七飛成 まで10手。

詰上がり図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	桂	銀	金	王	金	銀	桂	皇	一
			王						二
歩	歩	歩	歩		歩		歩	歩	三
									四
									五
			歩	馬					六
歩	歩		歩	馬	歩	歩	歩	歩	七
				玉			飛		八
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	九

持駒 歩2

(条件)

- ・6～10手目に、53へ駒が成る王手があった (7手目▲53角成)

本作は、攻め方の後手が王手を掛けられる手が入る10手詰。先手からの王手を上手く利用する詰形が浮かべば、易しい短編です。しかしながら、53地点に至る迄の角のルートが通常とは違っているのが盲点となるため、難しく感じられた方が多数でした。

詰形は、角を効かせた57地点に飛を成って先手の58玉を詰める形。

先手は53地点への角成のため、通常は44か97を通るルートを使いますが、通常ルートでは上手くいきません。

・通常ルートの失敗例：

- ▲76歩 △52飛 ▲44角 △14歩 ▲58玉 △13角 ▲53角成 △同飛 ▲XXX △57飛成。
- ▲96歩 △52飛 ▲97角 △34歩 ▲58玉 △66角 ▲53角成 △同飛 ▲XXX △57飛成。

いずれも53角成が非王手のため失敗。

▲53角成を王手とするためには、後手玉が1手動いてもらうのが必要です。そうすると後手方の攻め手が1手不足するところ、先手が角道を開ける協力手で補います。

・後手が角道を開ける代わりに▲33角不成と邪魔な歩を取り、後手も▲62玉と応戦。初手から「▲76歩 △52飛 ▲33角不成 △62玉」先手角は後手の角を邪魔しないよう33～42～53のルートを進む。

5手目から「▲42角不成 △66角 ▲53角成 △同飛」  
詰形は58玉型、9手目から「▲58玉 △57飛成」まで。

53地点迄2手で動ける角を33~42の連続不成で経由する手順が思いの外浮かびづらく、「難度ゼロ」初級で出題したのは担当の見込み違いでした。

それではみなさんの短評をどうぞ。

渡辺秀行(作者) 「通常の初級と比べても易しくないと思います。53の成が先手と分って(決め打って)も、97や44を通る軌道を考えるのが普通なので発想の転換が要るところ」

■なかなか発想の転換に気づかず、苦戦された解答者が多かった。作者の狙い通りでしょうか。

飯山修 「直前ヒントをみても最後迄わからなかった。盲点というものを再認識」

はなさかしろう 「解けてみれば自然で最も効率の良い手順。何度も近くを通り過ぎたのに、何故か見えずに嵌り込んでしまい、個人的には今回の最難関でした」

Pontamon 「7手目以降での先手の角、桂、歩での53への駒成りの場合、後手玉は王手をされに行く1手が必要なので、何か無駄なような気がする。ましてや応手が必要な王手を53以外の手とするなど以外と思い、33角は全く考えませんでした。有力な手順として最初に浮かんだのは、▲55歩を△同角と取り、▲58飛から▲53飛成での居玉への王手。△52飛の移動合いから▲57龍と引く協力手に△57同飛成での詰め。55の角は6段目へ移動して57飛成の紐になればピッタリのはずだったが、58に玉が居ない。2週間も掛かって最後によりやく解けたのがこの初級でした」

■53に成るだけなら5手目で済むところ、7手目の53角成ならば、33と42に連続角不成とできる。解答実力者の盲点に入りました。

波多野賢太郎 「どれだけ易しいかと思っていたら意外と手こずってしまいました。角を最短距離で5三に成ることを考えてしまってハマってしまいました」

S.Kimura 「58玉、57飛成で詰ます形は見えていたのですが、6手目以降に53へ駒が成る王手を発見するのに苦労しました」

たくぼん 「53角成の王手を意識しすぎて3手目の王手の手が指し難くかった」

占魚亭 「最初に96歩~97角の筋を読んで手間取りました」

■97~53や44~53のルートが見えてると33~42~53のルートは指しにくいんですね。

隅の老人B 「2度の角生、これで53で駒成の王手の実現。解ければ『なあーんだ』これが推理将棋ですね」

変寝夢 「7手目53角成の王手、8手目同飛、5手目完了の時点で42角があるの条件で700万局面4分でした。42角指定の所を97角、44角指定にして大分苦労しました。まさか42角からとは・・・参りました」

■候補手指定で省いてしまうほどの盲点でしたか・・・42角不成

DD++ 「5手目53角成王手が可なら53で取った角を66へ打てばよし。でも7手目53角成王手でもなんとかなるんですね。なるほどなるほど」

■5手目53角成可なら、「▲76歩 △52飛 ▲44角 △62玉 ▲53角成 △同飛 ▲58玉 △66角 ▲XXX △57飛成」の順。本作は余った先手の1手を33不成に活用できました。

NNN 「53角成から57飛成決め打ちで正確なところが初級なんですかね」

山下誠 「5三へ成る駒を後手の飛車で取ることには気付けば簡単でした」

小木敏弘「シンプルなヒントで、無数の余詰も消しているのが見事」

加賀孝志「旨い限定方法」

小山邦明「後手玉が王手となる位置を限定できる手順で推理しました」

斧間徳子「44角～53角成や97角～53角成ではダメで、33角生～42角生～53角成でなければならないところが面白い。1条件の傑作」

■シンプルに解けた方にも好評。1条件ながら謎解き要素に溢れた好作品でした。

正解：18名

飯山修さん S.Kimuraさん NNNさん 斧間徳子さん 加賀孝志さん 小木敏弘さん 小山邦明さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん DD++さん 波多野賢太郎さん はなさかしろうさん 変寝夢さん Pontamonさん 山下誠さん 渡辺さん

100-2 中級 渡辺秀行 作  
4回目の王手 10手

「王手、王手、…」

「4回目の王手は68に銀だよ」

「10手で詰んだね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

・10手で詰んだ

・4回目の王手は68への銀の着手だった

出題のことば(担当 NAO)

連続王手の着手地点を推理しよう。

追加ヒント

8手目△57角成が3回目の王手。

推理将棋100-2 解答 担当 NAO

▲5八金左 △3四歩 ▲4八金寄 △7七角不成 ▲6八銀 △同角不成 ▲5八玉 △5七角成 ▲5九玉 △6八銀 まで10手。

詰上がり図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	爵	帝	王	帝	爵	科	皇	
二		飛								
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	
四							歩			
五										
六										
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八		角		爵		金		飛		
九	香	桂			玉	金	銀	桂	香	

持駒 なし

(条件)

・4回目の王手は68への銀の着手だった(△77角不成～△68同角不成～△57角成～△68銀)

本作は、後手が4手目から4連続王手して詰め上げる10手詰。唯一条件の最終手△68銀が上手く、先手の応手も含めて手順が全て限定されます。

後手からの王手は、4手目から△77角～△XXX～△XXX～△68銀。4手目△77角は当然として、6手目は銀を奪う△68同角不成。最終手68銀で詰むためには、先手が協力して下段玉とした上で、左金と飛車の68への利きを遮らねばなりません。

・先手の協力手は・・・

4手目の王手を受けるまでに詰む準備。初手と3手目は居玉のまま左金を58～48に2連続で動かして延金の壁を造り左金と飛車を無力化する。初手から「▲58金左 △34歩 ▲48金寄」

初王手の77角不成には銀を渡すよう68銀と応じる。4手目から「△77角不成 ▲68銀 △同角不成」

・68銀で詰む形は・・・

68同角不成には一旦58地点に玉を躲し、3回目の王手57角成を受けて居玉に戻す。最後は68地点で奪った銀を68地点に打つ。7手目か

ら「▲58玉 △57角成 ▲59玉 △68銀」まで。

3手目迄の金の動きが面白く、100回記念の10手詰"難度ゼロ"に相応しい一品でした。

それではみなさんの短評をどうぞ。

渡辺秀行(作者)「こちらの方が易しいと思います。王手の連続で狭いですし」

波多野賢太郎「これはあっという間に解けました。四連続で王手となると指す手がだいぶ限定される上、6八銀で詰ますなら6九の金を4八へもっていくのもすぐ浮かんだので迷いなく解けました」

山下誠「これは素直な詰み形で、金の処理を考えれば比較的容易でした」

飯山修「ほぼ絶対手が多いのでこちらはすんなり」

NNN「シンプルな条件で程よい難易度ですね」

S.Kimura「手が限定されていて、初級よりも先に解けました」

■中級の方が易しいという意見が多数でした。

隅の老人B「たったの2行で手順が確定。上手いものです、推理将棋はかくりたい」

斧間徳子「この詰み型は珍しい。1条件でこの手順が限定されているのがすごい」

はなさかしろう「明快で美しい。この詰め上がり意外に作りやすく、推理将棋では初めて見ました」

■居玉に対し銀打ちで詰める作品例はほとんどありませんね。希少な「馬+42銀」型の前例にはおもちゃ箱57-1、鈴川さん作の9手詰があります。

DD++「さすがにこれで33角の逆王手はないだろうとするなら、4連続王手はこの玉が一旦逃げる形が本線。角の動きが初級と対照的」

■ちらっと浮かびますが、先手の33角の筋はすぐ消えますね。

Pontamon「4回目王手の68銀でトドメを刺すために、飛の横効きも消して戦場外へ去る左金の協力が見事」

小木敏弘「やっかいな左金の処理が実はオーソドックスなかわしでした。68に打つ銀を68で取るのも味わいがあります」

加賀孝志「初手がわかると手が進む」

占魚亭「68銀で詰ますには左金と飛の利きを消さなければならない。よって、初手はこの一手」

小山邦明「68銀が打てるように飛の横利きをなくす69金の移動が面白い手順でした」

たくぼん「69金の移動順が唯一の順とはちょっとびっくり」

■連続王手を受け始める前の協力手が金の連続移動とは意表の序盤作戦。

変寝夢「追加条件で10手の内9手は6~9段目指定で300万局面4分でした。一目散に壁になりに行く69金は不届き者ですね。目的を達成するための功労者でもあります」

■4手目以降は最終手限定の協力詰ですが、本作は王手を受ける前の1,3手目の序盤に絶妙の壁金手順がありました。

-----  
正解：18名

飯山修さん S.Kimuraさん NNNさん 斧間徳子さん 加賀孝志さん 小木敏弘さん 小山邦明さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん DD++さん 波多野賢太郎さん はなさかしろうさん 変寝夢さん Pontamonさん 山下誠さん 渡辺さん  
-----



100-3 上級 一乗谷酔象 作  
記念対局 34手

「師匠、吉報です。おもちゃ箱の推理将棋が第100回を迎えました」

「おお、遂に大台に乗ったか。実にめでたい。記念に一局やるか」

「是非お手合わせ願います。では、私の先手で・・・お願いします」

「うむ、はじめは真似将棋で様子を見ることにしよう・・・おっ、9段目の歩を含め5連続で歩の手を指してくるとは・・・なかなかやるなあ。少しは腕を上げたようだね」

・・・(34手目の後手番で)・・・

「ここまで真似将棋を続けたけど、駒の種類を替えてこう指したらどうだ」

「あら、詰みですね。投了です。負けました。感想戦をお願いします。寄る手もなく6連続で金の手を指した作戦が悪かったのでしょうか。6連続の最初に打った金で4枚の駒を取った後、最初の金打ちと同一地点にもう一度金を打ってしまいましたし」

「こっちは真似将棋だから、その作戦でも形勢互角じゃないのかい」

「桂取りに角を打った手はどうでしたかね」

「それも妙な手だったけど、飛の手より後に歩の手を1回だけ指したのが勝負を分けたな。投了図を見てごらん。双方ともに持駒1枚ずつ、記念対局に相ふさわしい一局だったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・34手で詰んだ
- ・真似将棋を指し続けたが、最終手のみ駒種を替えて指した※
- ・先手は9段目を含め5連続で歩の手を指した
- ・先手は6連続で金の手を指したが、6連続中に寄る手はなく、6連続の最初に打った金で4枚の駒を取った後、最初の金打ちと同一地点にもう一度金を打った
- ・桂取りに角を打った
- ・飛の手より後に歩の手を1回だけ指した
- ・投了図では双方ともに持駒1枚ずつ

※後手は、2～32手目の間、直前の先手の着手に対し55中心の点対称の指し手を着手し続けた。更に34手目は33手目の着手に対し55中

心の点対称地点に、33手目と駒種を替えて着手した。

・真似将棋に関わる作品例：おもちゃ箱 38-2、WFP 作品展 55-14

出題のことば (担当 NAO)

9段目の歩の打場所を絞り込んで、詰み形を推理しよう。

中間ヒント

金で取る駒は角金桂歩(順不同)の4種4枚。最後に持駒1枚となるよう4枚のうち3枚を金、角、Xの順に打つ。

追加ヒント

初手▲78金～最終手△67桂まで。72の金を取ってどこに打つか。

修正

『6連続の最初と最後は同一地点に指した』→『6連続の最初に打った金で4枚の駒を取った後、最初の金打ちと同一地点にもう一度金を打った』に修正

推理将棋100-3 解答 担当 NAO

▲7八金	△3二金	▲6六歩	△4四歩
▲6五歩	△4五歩	▲6四歩	△4六歩
▲6三歩成	△4七歩成	▲6九歩	△4一歩
▲5八飛	△5二飛	▲3八金	△7二金
▲同 と	△3八と	▲1二金	△9八金
▲2一金	△8九金	▲2二金	△8八金
▲2三金	△8七金	▲3二金	△7八金
▲1二金	△9八金	▲9二角	△1八角
▲4三歩	△6七桂	まで34手.	

詰上がり図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	爵		王	糸	爵		皇	
二	角		と		進		金		金	
三	糸	糸	糸		糸	歩	糸		糸	
四										
五										
六										
七	歩		歩	科	歩		歩	歩	歩	
八	王		王		飛		又		皇	
九	香		銀	歩	玉		銀	桂	香	

持駒 桂

(条件)

- ・真似将棋を指し続けたが、最終手のみ駒種を替えて指した(33手目▲43歩、34手目△67桂)
- ・先手は9段目を含め5連続で歩の手を指した(3手目以降▲66歩～▲65歩～▲64歩～▲63歩成～▲69歩)
- ・先手は6連続で金の手を指したが、6連続中に寄る手はなく6連続の最初と最後は同一地点に指した(19手目以降▲12金～▲21金～▲22金～▲23金～▲32金～▲12金)
- ・桂取りに角を打った(31手目▲92角 △18角)
- ・飛の手より後に歩の手を1回だけ指した(13手目▲58飛 △52飛の後、33手目▲43歩)
- ・投了図では双方ともに持駒1枚ずつ(先手：桂、後手：歩)

推理将棋第100回を祝う記念対局の投了図は、先手後手とも自陣側の駒配置が"100"となりました。本作は、冗長に思える珍妙な手順の後、終図が"あぶり出し"となる狙いの中編作品です。

条件が多く長手数なので解図はたいへんですが、真似将棋であること、歩と金の連続着手があることを基本の鍵として手順を組み立てていきます。

まずは条件の整理から。

- ・真似将棋で最終手のみ駒種を替える→先後の着手は双方とも17回ずつ。後手の16回は真似の手。王手は最終手のみ(途中で王手が入ると応手が必要になるため)
  - ・5連続で歩→9段目を空ける手の後、歩の手が5手続く。9段目を空けた筋の歩が切れてから歩を打つ。
  - ・6連続で金→金を取った後に、金打ち～4枚駒取り(寄る手なし)～金打ち。駒取り4枚のうち、1枚は6連続目に打つ金で、1枚は後に桂取りに打つ角。
- よって先手は後手の"22角"周辺に金を打って駒を取っていけばよい。角金以外に取る駒は、銀桂香歩の中から2枚。
- ・飛の手の後、歩の手が1回だけ。→飛の手は、5連続の歩より後。先手の歩の手1回を後手が真似すると合計2回になってしまうので、

"飛の手"の後の"歩の手"は最後の33手目か34手目に絞られる。

ここで、着手手数の確認。

- ・9段目を空ける手：1手
- ・歩の手が5連続：5手
- ・金を取る手：1手
- ・金打～金で4枚の駒を取る～金打：6手
- ・角を打つ手：1手
- ・飛の手、その後の歩の手：2手(歩の手は33手目か34手目のいずれか一方)

これらの手数を合計すると16手。残りは1手だけ。

また、手順を組み立てるために以下の(a)～(c)が必要になる。

- (a)金を取られても王手とならないよう予め両方の金を動かす手：2手
- (b)金で取った4枚の駒のうち、3枚を打つ手：3手
- (c)王を詰める手：1手(後手のみ)

これらは上記の16手と重複しても構わないので、一石二鳥の効率のよい手を選んでいく。

→(a)の金を動かす手のうち1手は「9段目を空ける手」と兼ねることができる。

(b)の打つ駒3枚のうち、1枚は6連続めに打つ金で1枚は桂取りに打つ角。残る1枚を"歩"または"王手を掛ける止め駒"とすれば(c)も同時に満たせる。すなわち、金で取る4枚の駒は、"角、金"に加え、"桂、歩"として、33手目に先手の歩打ち、34手目に後手の桂打ちで詰む形を目指す。先手玉の左右の38と78に包囲駒の金または"と金"を置き、玉頭に58飛を置くのが吊し桂で詰む形。

ここまでの推理で、着手地点もほぼ判明。

- ・右金は38(72)に、左金は78(32)に移動し、72(38)と32(78)で金を取る。ただし右金が動くのは飛の手▲58飛(△52飛)の後になる。初手は▲78金、先手が歩を突いていく筋は6筋に確定。
- ・金で取る駒は、角金桂歩の4枚→金を12(98)地点に打って、21～22～23～32(89～88～87～78)の順に動いて、寄る手を指さずに4枚の駒を取る。

・角打ちが桂取りになる場所は 92(18)地点のみ。

・飛の手は▲58 飛(△52 飛)。その後 1 回だけの歩の手は 33 手目▲43 歩。34 手目の止めは△67 桂。いずれも金で取った駒を打つ。残った持駒は、先手：桂、後手：歩の 1 枚ずつ。

以上から、手順構成を再現すると、

・9 段目を空ける金の手～5 連続歩の手。

初手から「▲78 金 △32 金 ▲66 歩 △44 歩 ▲65 歩 △45 歩 ▲64 歩 △46 歩 ▲63 歩成 △47 歩成 ▲69 歩 △41 歩」

・飛の手～金を取る手。

13 手目から「▲58 飛 △52 飛 ▲38 金 △72 金 ▲同と △38 と」

・6 連続金の手。

19 手目から「▲12 金 △98 金 ▲21 金 △89 金 ▲22 金 △88 金 ▲23 金 △87 金 ▲32 金 △78 金 ▲12 金 △98 金」

・桂取りに角を打つ。31 手目から「▲92 角 △18 角」

・歩の手と止めの手。33 手目から「▲43 歩 △67 桂」まで。

修正前『6 連続の最初と最後は同一地点に指した』条件での余詰手順

例 1)

▲38 金 △72 金 ▲66 歩 △44 歩 ▲65 歩  
△45 歩 ▲64 歩 △46 歩 ▲63 歩成△47 歩  
成 ▲49 歩 △61 歩 ▲72 と △38 と ▲  
43 金 △67 金 ▲78 金 △32 金 ▲同金  
△78 金 ▲33 金 △77 金 ▲22 金 △88 金  
▲43 金 △67 金 ▲32 角 △78 角 ▲21 金  
△89 金 ▲18 飛 △92 飛 ▲63 歩 △47 桂  
まで。

例 2)

▲66 歩 △44 歩 ▲48 金 △62 金 ▲65 歩  
△45 歩 ▲64 歩 △46 歩 ▲63 歩不成△47  
歩不成▲62 歩不成△48 歩不成 ▲49 歩 △  
61 歩 ▲38 飛 △72 飛 ▲43 金 △67 金▲  
78 金 △32 金 ▲同金 △78 金 ▲21 金  
△89 金 ▲22 金 △88 金 ▲43 金 △67 金  
▲25 桂 △85 桂 ▲52 角 △58 角 ▲61 角  
不成△49 歩成 まで。

いずれも 6 連続の金着手を▲43 金～▲43 金とする手順が成立。例 1 では 6 連続中に角金歩の 3 枚を取り、後で桂を取る。また、例 2 では 62 地点への歩不成で金を取り、金の 6 連続着手中に角金桂の 3 枚を取って▲61 角不成～△49 歩成で収束。いずれも DD++さんからご指摘いただきました。『6 連続の最初に打った金で 4 枚の駒を取った後、最初の金打ちと同一地点にもう一度金を打った』に修正。

それではみなさんの短評をどうぞ。

一乗谷酔象(作者)「100 回記念おめでとうございます。記念作品として、条件にそれを明示しない純粋なあぶり出しを創ってみました。試みも不完全でしたが、出題早々に DD++さんから余詰み筋をご指摘いただいたため救われました。破綻することなく修正できてホッとします」

DD++ 「自陣敵陣ともに"100"のあぶりだし。なるほど初手はと金に取らせる方の金を上げてはダメなのですね。2 回目の修正までまったく気づきませんでした。

このあぶり出しの手順をいろいろ考えてみたんですが『最終 2 手に別種駒を打つ以外は真似将棋』だと、先手金打ち後手角打ち(52 玉 58 玉に対して 41 と 69 につ)とか先手角打ち後手金打ち(52 と 58)とか先手銀打ち後手金打ち(41 と 69)とか含めても 34 手が最短なんですかね。最終手を先手角不成と後手角成にする形だと先後とも歩を盤上 8 枚で済ませられるので 32 手にできますが。

参考手順：

▲78 金 △32 金 ▲86 歩 △24 歩 ▲85 歩  
△25 歩 ▲84 歩 △26 歩 ▲83 歩成△27 歩  
成▲92 と △18 と ▲22 飛成△88 飛成▲21  
龍 △89 龍 ▲32 龍 △78 龍 ▲27 歩 △  
83 歩 ▲38 金 △72 金 ▲69 桂 △41 桂  
▲98 金 △12 金 ▲52 角 △58 角 ▲63 角  
不成△47 角不成 ▲52 角不成△58 角成 まで」

■真似将棋を使って自陣敵陣とも"100"のあぶり出しとなる手順は最短 32 手とのこと。作品創作となると詰上がり形"100"を前提条件に加えないとかなり難しそうです。詰みと関係ない手が多く入りますので。

たくぼん 「第100回のトリを飾るに相応しい最終図。難易度も適度で記憶に残る傑作でしょう」

はなさかしろう 「第100回にふさわしい、素晴らしい趣向ですね。不思議な気配は感じていたのですが、金の動きを見つけたところでようやく狙いに気付き、目が覚めました」

NNN 「なぜこの問題がこの回にあるのかさっぱり分かりませんでしたし、条件もずいぶん込み入っているなど思っていたのですが、詰め上がりを見て理解しました。おお100だ！」

Pontamon (双方解) 「100回記念対局に相応しい見事な100のあぶり出しの投了図に感激です。推理将棋でのあぶり出しは初でしょうか？」

後半の6連続金の着手のために序での金の入手が必須で、初手38金としてしまうとこの金を取った『と金』が邪魔になって桂取りに角を打てない詰み形があってハマってました。取られる38金の協力手をじっと我慢して先に58飛としておくのがなかなか見えませんでした。一枚だけの成駒の『と金』が金取りだけに終わらずいい仕事をしています」

■推理将棋は実戦初形から始めて盤面全体を使うため、あぶり出しは希でしょう。詰上がりで初形位置の40枚配置とするものは発表例があります。ちょうど出題中の詰パラ2016年4月号289番中村さん作は"終局図が初形位置の40枚配置"条件ですね。

波多野賢太郎 「これは本当に難しく最終ヒントを見てようやく解くことができました。そして、まさかの「100」にびっくりし、苦労したけど解けて良かったと思いました。1二金がなかなか見えなかったです」

■香頭の金打ちは、玉から遠く詰みとも関係ないので打ちにくい。詰手順には端の金打ちが4回も入りました。

山下誠 「初手1八香と上がってと金で駒を奪う順で10日間遊びましたが、どうしても2手短縮できず、断念。第2ヒントで初手が7八金

に決まってからは、スムーズに解けました。それにしても、「100」回を祝う曲詰だったとは驚きです」

■初手18香や98香から端攻めも有力な紛れ筋でした。

飯山修 「中間ヒントで右側を取る事が判れば一気」

小木敏弘 「先に取りられる金をあとから、しかも飛車のあとからあがるのが面白い。長いようでも手数で限定されるところに妙味あり」

斧間徳子 「本作は、真似将棋というテーマをどこまで重視するかで評価が分かれそう。手順としては、金と角の打ち場所の限定が面白い」

渡辺 「難しかった。「歩x5、金x6、角、飛、あと3手」がどういう順になれば良いかを考えると良いと思います。

角打の条件がとってつけたような感じですが、それを無くして32手/持駒2枚、で成立するとよりスマートだと思いますが、問題があるでしょうか？」

■あぶり出しに気づかなかった？と思われる4名のコメントです。詰みと関係の無い金打ちと角打ち、実は"100"のあぶり出しのため、とってつけた条件なのでした。

S.Kimura (誤解) 「最後の望みの最終ヒントは想定内だったため、いささか困りましたが、12金を発見してようやく解けました。曲詰は予想していましたが、この詰め上がりにたどり着けて良かったです」

■Kimuraさんからほとんど正解に近い解答をいただきましたが、手順前後があり、惜しくも"6連続"金を満たしておりませんでした。

加賀孝志 「疲れた、ルールを理解するのに大変、アイデアは買う」

占魚亭 「ギブアップです」

隅の老人B 「条件文の多さ長さ、手数は34手とか。これだけ読んで、爺さんの解く気は消滅。ハイ、これはギブアップ」

■条件が多い分、解図欲を削がれました。最終ヒントに"100のあぶり出し"を入れた方がよかったか・・・

小山邦明 「後手の手数の推理が17手におさまらず残念。

後手の手数を下記のように計算すると19手(合計38手)。条件を理解できていないと思われるので、解説を楽しみにしています。

1. 2手目32金(初手78金) 1手
2. 歩が連続5着手(9段目の着手あり)5手
3. 後手に72金あり(ヒントより) 1手
4. 先手が72金を取る手に相当する38xx1手
5. 金は6連続着手(金打、4種の駒取り、金打) 6手
6. 飛の着手後、歩の着手が1回 2手
7. 桂取りの角打 1手
8. 75桂打(55桂は打てない)から67桂2手」

■6. 2手→1手(飛の着手後の"歩の着手"は先手のみ)

8. 2手→1手(67桂は打つので75桂打は不要)

のように合わせて2手減って、後手の手数は合計17手です。

-----  
正解：12名

双方解：DD++さん、Pontamonさん

飯山修さん NNNさん 斧間徳子さん 加賀孝志さん 小木敏弘さん たくぼんさん  
DD++さん 波多野賢太郎さん はなさかしろうさん Pontamonさん 山下誠さん 渡辺さん  
-----

総評

はなさかしろう 「推理将棋100回到達おめでとうございます。10手は簡潔な条件の佳作が揃い、更にいよいよ長編も解けて楽しかったです。これからもよろしくお願ひいたします」

飯山修 「このコーナーが何回迄続くか分かりませんが出来るだけ解答したいと思います」

波多野賢太郎 「推理将棋100回記念、おめでとうございます。これだけ続くというのは、やはり推理将棋がそれだけ奥が深くて楽しいからだと思います。まだまだこれから先も、大作、傑作がたくさん生まれることと思います。とても楽しみです」

NNN 「いつも楽しく解いています」

変寝夢 「100回とはすごいですね。200回ではどんな作品が登場しているのでしょうか」

占魚亭 「遂に100回到達。おめでとうございます」

S.Kimura 「100回記念、おめでとうございます。『10手詰難度ゼロ』で全問が簡単に解けることを期待したのですが、最後の記念対局がとても難しく、大変でした」

DD++ 「出題100回到達おめでとうございます。最初の頃、30回くらい、60回くらい、と見てみると昔よりずいぶん解答者が増えましたね。今後もどんどん増えていくといいなあ」

■お祝いのお言葉をいただきありがとうございます。長い間出題を継続できるのも、毎回皆さまから解答を多数寄せていただいたお陰です。解答者のコメントは出題担当の力になります。"楽しんだ"、"面白かった"、"難しかった"、"易しかった"、"物足りない"、"条件がわかりにくい"、何でも結構ですので一言いただくと幸いです。

隅の老人B 「最近、医者の方の指導で抗癌剤を服用している、その副作用で涙腺が詰まっている。これでインターネットの文字が霞んで読み難い。詰パラ誌の図面を見るのも虫眼鏡。それでも好きな道、せめて『おもちゃ箱』の推理将棋、1題くらいは解きたいな、です」

諏訪冬葉 「(100-1,2まとめて感想)2問とも99-1より時間がかかりました。正直に言ってこれが「難度0」とは信じられません」

斧間徳子 「100 回到達は、TETSU さんと歴代担当者の方の 9 年間に亘るご尽力の積み重ねによりなし得た偉業と思います。おめでとうございます。(私は第 26 回から解答を続けてますがもう 6 年半にもなるとわかりビックリ)。渡辺さんの 10 手詰 1 条件の 2 題は、第 100 回にふさわしい傑作で楽しめました」

Pontamon 「第 100 回、おめでとうございます。今月は 10 手易問題特集とのことだったのに、初級も中級も来月特集予定の 1 条件の作品で不意打ちでした」

■ 101 回もお題通りの"10 手 1 条件"特集。お楽しみいただきましょう。

小木敏弘 「漠然としたものは解きにくいですが、一筋の道があるものは、なんとか進めていけますが、そのような手がかりがあって助かりました。

100-3 は自分が勘違いしたこともあり、ヒントがちょっとわかりにくかったです。誤解できない表現を期待します。と金の手は歩の手なのがどうか分かりにくかったです」

■できるだけ誤解のない表現をしたいと思います。もし、意味が二通りに取れるとか条件が紛らわしいと感じられたら、コメント欄で遠慮なくご質問ください。

たくぼん 「100 回出題おめでとうございます。まだまだ通過地点とは思いますがこれだけ長く続けることは大変なこと。これからも易しく楽しくはたまた超難解な作品も楽しみにしておりますので期待しております。

#### 【Fairy TopIX2015】

現在 Fairy TopIX2015 のお気に入り投票実施中です。推理将棋部門につきましてはここ数年投票が少ない状況となっております。作者の励みにもなると信じておりますので、解答者の皆さん是非お気に入り投票をよろしくお願い致します」

■ Fairy TopIX は Web 上に発表された作品のお気に入り投票です。「推理将棋・プルーフゲーム」部門は短編部門(～15 手)と中長編部門(16 手～)がありますが、当コーナー(第 85 回～第

96 回)に出題された全作品も投票対象です。気に入った作品、印象に残った作品には是非、投票をお願いいたします。

-----  
推理将棋第 100 回出題全解答者： 18 名

飯山修さん S.Kimura さん NNN さん 斧間徳子さん 加賀孝志さん 小木敏弘さん 小山邦明さん 隅の老人 B さん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん DD++さん 波多野賢太郎さん はなさかしろうさん 変寝夢さん Pontamon さん 山下誠さん 渡辺さん  
-----

## Fairy TopIX2015投票結果

2015年のFairy TopIX投票結果発表です。

投票者は、変寝夢、橋本孝治、酒井博久、占魚亭、NAO、井上順一、上谷直希、会場健大、小木敏弘、Pontamon、奥野眞、はなさかしろう、たくぼん 以上13名でした。昨年より増えましたが、無理やりお願いした方もありました。(敬称略)投票ありがとうございました。

2014年にネット上で発表された候補作は、短編117作(前年109作)、中編17作(前年26作)、長編33作(前年24作)、推理将棋(短中長)42作(前年46作)の計209作(前年205作)でした。総数はほぼ昨年並み。部門別ではフェアリー作品の中編と推理将棋・PG部門の長編が少ないですね。プルーフゲームは今年も発表作0です。作家の皆さんの奮起を期待します。

では各部門別に発表します。申し訳けありませんが敬称は略させていただきますのでご了承下さい。

### 【短編部門】

投票者：変寝夢、橋本孝治、占魚亭、会場健大、上谷直希、井上順一、たくぼん 計7名

短編部門は、117作の中から、ベスト3全てが透明駒の作品という結果になりました。論理的な作品が好まれている感じです。1位は断トツのポイントで会場作の透明駒作品。会場氏はこれで昨年に引き続いての2連覇達成です。2位、3位が上谷さんの透明駒作品でした。好作連発で勢いありますね。さて今年も透明駒旋風はまだ続くでしょうか？はたまた新しい風が吹くのでしょうか？楽しみです。

記載は、順位、一覧の番号、作者名、出題年月、出題場所、ルール、手数、お気に入り投票ポイントです。同位の場合は一覧の番号順に記載しています。



🌀 1位 短40 会場健大 2015/5  
第73回WFP作品展 73-10

18pt

協力自玉詰6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
								龍	八
									九

持駒なし

※透明駒 攻方2枚、受方2枚

-X 98飛 -X -X 78龍 同飛成 まで6手

詰上図(可視化された駒のみ表示)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒なし

### 受賞コメント 会場健大

一位とのこと、ありがとうございます。普通変則の枠を越えて、自分の作った詰将棋のなかでもっとも好きな作品なので評価をいただけて嬉しいです。詰将棋作家として、私は自作に独創性がないことを自覚しておりましたが、透明

駒というまだ真っ白な（あるいは、透明な）キャンバスを与えられて、初めて自分のオリジナルと胸を張っていえる作品を作ることができたと思います。発表にあたって作意が先に出してしまったのは大変申し訳ありませんでしたが（氾濫との兼ね合いで解答期間が延びるのを失念していました）、それでも分け隔てなく票を投じていただいたことには感謝しかありません。ありがとうございました。

★ 解こうと思っても王の位置さえはっきり分からないし、解答を見ても解説を読まない限り意味が分からないだろう。しかしその意味を知ったときに本作の凄さに気付くことだろう。是非「WFP 86号」&「この詰将棋がすごい！2015」をお読み下さい。

**変寝夢 1位**

初手が打ではないところがおしゃれですね

**上谷直希 1位**

やっぱりこれかな。

**たくぼん 1位**

やはりこれは群を抜いている。

**橋本孝治 2位**

自玉詰なのに自玉の位置さえ分からない難物。自分が解答者だったら、解く前から挫けてしまいそうな作ですが、たった1枚の配置ですべての手順を限定した手腕に一票を入れます。

**🌀 2位 短56 上谷直希 2015/9 第76回 WFP 作品展 76-1**

9pt

詰将棋 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								角	一
							銀	王	二
					玉				三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂 歩2

※透明駒 攻方0枚、受方2枚

13歩 同 X(=金、角、馬、飛、龍) 24桂 同 X 13歩 (24X=金) 同 X(=飛、龍) 同銀 同玉 12飛 同玉 22角成 まで 11手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							馬	王	二
						玉			三
							季		四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

**受賞コメント 上谷直希**

手順は簡明ですが、ロジックの量としては鑑賞に堪えるぐらいのものはあるでしょうか？作図上は▲33玉配置が MVP です。自分としてはちょっと軽すぎるかなと思っていましたので、思わぬ好評価をいただきましてびっくりしております。投票して下さった方々および担当者様、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

★ 同地点に透明駒を捨てることにより、後手の透明駒を可視化させて詰める。ロジックが分かりやすいという点が解答者の評価を得たのだろう。

**会場健大 1位**

複数の透明駒を処理するテーマにおいて新しい成果を次々と生み出している作者の優れた達成のひとつ。人に紹介したくなった。短56より上位につけたのは収束が決まるころ、という微妙な好みの差。

**変寝夢 2位**

気持ちいい手順

**たくぼん 次点**

やはり新しい手筋を見ると評価したくなりますね。



🌀 3位 短 106 上谷直希 2015/9  
第1回フェアリー入門⑦

かしこ詰 5手 透明駒 1+1

									王	王	一
									皇		二
									糸		三
									桂		四
											五
											六
											七
											八
											九

持駒 なし

-X 18飛 同香 同 X 12飛 迄 5手

詰上図 (可視化された駒のみ表示)

									王	王	一
									皇	飛	二
									糸		三
									桂		四
											五
											六
											七
											八
											九

持駒 なし

**受賞コメント 上谷直希**

「相手の透明駒を取ったことを主張する」。透明駒のルール提唱当時から強力な手段として知られていた(らしい)手筋で、本作ではその筋をどう防ぐかが受ける上でのミソとなります。一発芸のようではありますが「18飛」の一手が今後皆様の記憶に残っていったらと思います。

★ このとっつき易い初形からかなりの変化紛れで苦しめられる。その中から現れる 18 飛のインパクトは十分すぎる受賞理由となろう。

8pt

**井上順一 1位**

第1回フェアリー入門の透明駒作品はどれもおもしろかったが、本作がもっとも好み。ほぼ1筋に限定された攻防なので、手が限られているはずだが、作意の限定合以外の変化も多く、楽しめた。

**会場健大 3位**

18飛という合駒の含む豊富な情報量が玉方にとって有利に働くケースがあるということが考えもしなかった発想で驚かされた。

**たくぼん 次点**

解けなかった。いまだに全てを理解していないと思う。

**4位 短 34 上谷直希 2015/5**

**第73回 WFP 作品展 73-1**

6pt

禁欲詰 9手

									皇	王	一
											二
								王	金	飛	三
											四
											五
											六
											七
											八
											九

持駒 香

34香 33金 同香生 32飛 22金 41玉 52金 同飛 31金 まで 9手

**橋本孝治 1位**

「禁欲」という些細な変更が、金と飛の連続合の大技を生み出す作品。「川」の字の真ん中の縦棒が全て消えた地図を見せられたら、こんな気分になるのでしょうか。普通の詰将棋との小さなズレをクローズアップし、手順の大きな変化に結びつける作者の路線には今後も注目したいと思います。

**たくぼん 次点**

普通に金、飛の連続合に驚いた。禁欲詰のこの先の光を垣間見る1作。

4位 短 17 上谷直希 2015/3  
第 71 回 WFP 作品展 71-1

協力詰 3手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							王	
							王	

攻方持駒 飛2  
受方持駒 残り全部

※a)本図

b)後手が先手を詰ます (駒余り可)

a)先手が後手を詰ます 24 飛 13 玉 14 飛 まで 3手

b)後手が先手を詰ます 27 銀 17 玉 16 金 まで 3手

占魚亭 1位

持駒移動なしで限定できるというのは発見でしょう。

5位 短 83 上谷直希 2015/11  
第 78 回 WFP 作品展 78-12

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							王	
							王	

持駒 香

※透明駒 攻方 1枚、受方 1枚

23 香 11 玉 -X 12 角打 -X まで 5手

5pt

たくぼん 2位

この作は死ぬほど考えた。そして 12 角打ちは 1 秒たりとも考えなかった。まだまだだなーと思った 1 作。

変寝夢 次点

解けてたのに不詰と勘違いしていた。1 筋の 見えない折衝が面白い

5位 短 70 変寝夢 2015/10  
第 77 回 WFP 作品展 77-7

4pt

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
		雀					香	
						王		

持駒 桂香

※雀: Sparrow (135° Grasshopper)

37 桂 26 玉 34 雀 15 玉 17 香 まで 5手

橋本孝治 3位

今年も多くのフェアリールールを見せてくれた作者ですが、曲がった利きを持つ駒が生み出す、奇妙な合利かずの詰上りが最も印象に残りました。

たくぼん 3位

フェアリーをやってて面白いと思うのはこのような不思議な手順や詰上りに遭遇すること。協力詰で合利かずが見られるとはビックリ！

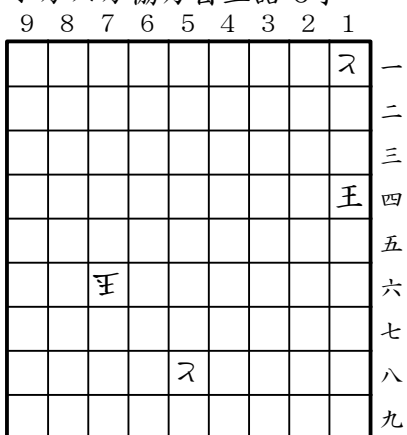


copy right /Tabuki Masahiro

7位 短53 変寝夢 2015/8  
第75回 WFP 作品展 75-8

3pt

ボカスカ協力自玉詰6手



攻方持駒 角 香2  
受方持駒 なし

21角 67玉 (69,22)香 と右上 12角生 (13,23)  
香 まで 6手

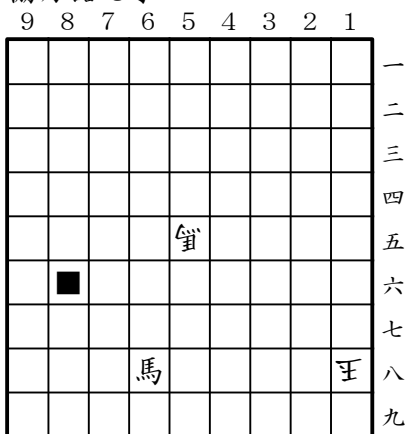
井上順一 2位

久しぶりにボカスカが解けただけで満足。

7位 短54 変寝夢 2015/8  
第75回 WFP 作品展 75-9

3pt

協力詰5手



攻方持駒 金  
受方持駒 なし  
※■: Imitator

19金 29玉 [I97] 46馬 [I75] 73馬 [I93] 28馬  
[I75] まで 5手

占魚亭 2位

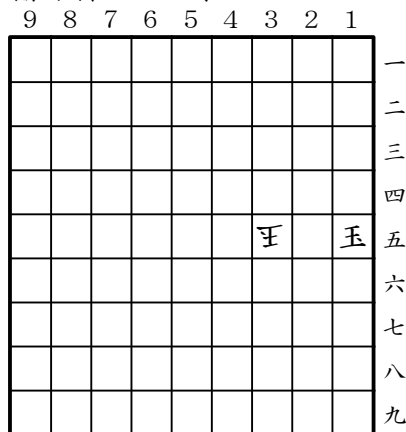
変寝夢さんによる一連の Imitator 作品がな

ければ、自分も Imitator を使って創ってみよ  
うとは思いませんでした。

7位 短57 上谷直希 2015/9  
第76回 WFP 作品展 76-2

3pt

協力自玉詰4手



持駒 なし  
※透明駒 攻方3枚、受方0枚

-X 33飛 -X 13飛 まで4手

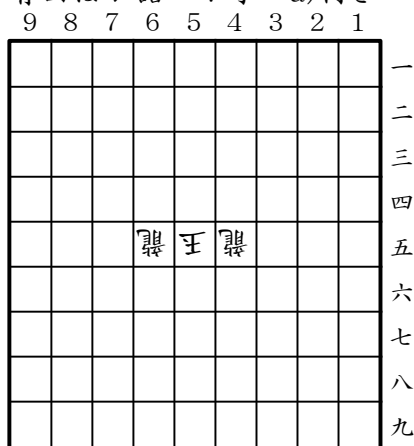
会場健大 2位

短56と並び、複数の透明駒を用いたアンピ  
ンに関わる極めて優れた構想と最善としか  
いいようのない表現。

7位 短117 占魚亭 2015/12  
占魚亭残日録 12/3 記事より

3pt

背面ばか詰 7手 a)利き二歩有効 b)無効



持駒 歩2

a) 56歩 54玉 55歩 56桂 44歩 同玉 43歩  
生 迄 7手

b) 56歩 44玉 64歩 54玉 55歩上 56角 44歩迄 7手

上谷直希 2位  
良い。

7位 短87 上谷直希 2015/7  
Fairy of the Forest #44-01

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							馬		五
				銀	王				六
				歩				飛	七
								飛	八
									九

持駒 角銀香

38香 同飛成 18角 27龍 37銀打 まで 5手

占魚亭 3位

成る手を思いつくのに苦労したことを憶えています。

たくぼん 次点

12位 短74 神無太郎 2015/11  
第78回 WFP 作品展 78-1

協力自玉スタイルメイト 12手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
							王	王	八
									九

持駒 飛角騎4  
※騎：Knight

3pt

2pt

46騎 47玉 26騎 46玉 19角 37飛 36飛 同玉 28騎 26玉 38騎 同飛成 まで 12手

変寝夢 3位

19角 28騎の形は思い浮かばなかった

12位 短114 尾形 充 2015/12  
第2回フェアリー入門②

2pt

禁欲協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
					王				二
						香			三
					銀			銀	四
							飛		五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛角

23角 21玉 91飛 81馬 32香成 迄 5手

井上順一 3位

これは最遠打がいい。

14位 短65 上谷直希 2015/10  
第77回 WFP 作品展 77-2

1pt

Isardam協力自玉詰 10手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
	王								二
									三
									四
					王				五
									六
									七
									八
									九

持駒 角歩

83 歩 72 玉 18 角 27 飛 同角 36 飛 32 飛 83 玉 38 角 同飛生 まで 10 手

**変寝夢 次点**

3 手目以降は好み

14 位 短 108 上谷直希 2014/1  
第 59 回 WFP 作品展 59-3

1pt

**禁欲協力詰 11 手**

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
			飛	飛					七
						王			八
							ス	香	九

持駒 角香

58 飛 同玉 59 香 48 玉 57 角 47 玉 93 角生 46 玉 47 飛 同玉 57 角成 まで 1 1 手

**橋本孝治 次点**

「フェアリー入門にかこつけて」の記事で出題された作品はどれも中々の物。解答募集が行われなかったのが残念です。その中から「態度保留の不成」ともいうべき本局に一票。余計な利きを増やさないとため駒は成らないが、変化に備えて成れる位置には行っておく、二股掛け的な 93 角不成の限定移動が好手です。

**会場健大**

総じて、上谷さんは透明駒の第一人者になりましたね。引き続き楽しみにしています。

**【総評】**

**橋本孝治**

短編は印象度勝負。初出時のインパクトは大切にしてください。発表時不完全は修正図があっても投票から外しました。

**変寝夢**

自作は外しましたが、短 3 2 と短 5 3 は気に入っております。透明駒はどちらかというところ今後の方向性に注目しています。

**【中編部門】**

投票者：変寝夢、橋本孝治、酒井博久、占魚亭、井上順一、たくぼん 計 6 名

中編部門の投票者は 6 名でした。2014 年は 26 作でしたが 2015 年は 17 作と発表作が減少しています。賞への近道皆さんチャンスですよ。1 位は神無七郎氏の協力詰。2 位は上谷氏の禁欲詰、3 位は変寝夢氏の中立駒作品とバラエティに富んだラインナップとなりました。

 **1 位 中 12 神無七郎 2015/10**  
**Fairy of the Forest #45-03**

20pt

**協力詰 35 手**

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						角	銀	王		一
									飛	二
								玉	香	三
						香			香	四
								角		五
									飛	六
										七
										八
										九

攻方持駒 銀2桂3  
受方持駒 なし

32 銀 同飛 33 桂 11 玉 21 桂成 同玉 33 桂 11 玉 13 香生 12 桂 21 桂成 同玉 12 香成 同飛 寄 32 銀 同飛 33 桂 11 玉 15 香 14 角 同香 13 銀 同香生 12 香 21 桂成 同玉 12 香成 同飛 寄 32 銀 同飛 13 桂 11 玉 33 角 22 桂 12 香 まで 35 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						銀	香	王	一
							飛	香	二
						角	玉	桂	三
					皇				四
									五
								飛	六
									七
									八
									九

持駒 なし

**受賞コメント 神無七郎**

本作に投票してくださった皆様、ありがとうございます。今期は中編の絶対数が少なかったもので、運にも恵まれたと思います。投稿時のコメントでは初形の25角と44香はできれば省きたかったと書いていて、今もそれは基本的には変わらないのですが、こうして賞を戴いてから見直すと、収束を短かく切り上げた本図も悪くないのではないかと思えてきました。我ながら現金なものです。

★ 手は狭い(ように見える)。受方持駒制限はあるし。しかしそこから繰り広げられる攻防はまさに七郎ワールド。一般受けの良い協力詰と適度な謎解きを好む解答者が多いのは間違いないので票が入るのは当然だと思いますが・・・。

**変寝夢 1位**

スッキリとした表現。

**酒井博久 1位**

趣向と謎解きのほどよい調和。

**井上順一 1位**

逆王手をからめた攻防がみごと。

**たくぼん 1位**

初形と手順のバランスがいい。



🌀 2位 中8 上谷直希 2015/10  
第77回 WFP 作品展 77-1

12pt

禁欲詰 27手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
								皇	四
						王			五
						銀	王		六
									七
						龍	皇		八
								銀	九

持駒 桂

27 銀 17 玉 18 銀 28 玉 17 銀 19 玉 28 銀 18 玉 19 銀 17 玉 37 龍 27 飛 18 銀 16 玉 17 銀 15 玉 26 銀 16 玉 28 桂 同飛成 17 銀 15 玉 26 龍 同龍 同銀 16 玉 17 飛 まで 27手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
								皇	四
						玉			五
							銀	王	六
								飛	七
							皇		八
								銀	九

持駒 なし

**受賞コメント 上谷直希**

序の付け方が難しかったですね。これで正かっただけでしょうか？本作に投票していただいたのはもちろん嬉しいのですが、本作がどのように評価されているのかにも非常に興味があります。

★ 序からの銀の動きがすばらしく 27 手を飽きさせない。解答者からも好印象の評価間違いなし。

**橋本孝治 1位**

「成らせ」の主題を霞ませる銀の大活躍。作品が作者の意志を上回ったとき好作は生まれます。

**井上順一 2位**

禁欲ルールで詰ますために、飛を龍に変えるのがうまい。銀も大活躍。

**変寝夢 3位**

自玉詰のやりとりを見てるような中盤が面白い

**たくぼん 3位**

序から収束まで曇り1点もなし。お見事。



**3位 中1 変寝夢 2015/1 第69回 WFP 作品展 69-8**

6pt

打歩協力詰 17手

王	皇									
		角								
王	皇	爵								
		●								
		●								
香	香									

攻方持駒 n歩2

受方持駒 なし

※85歩及び持駒の歩は中立駒

●は不透過、不可侵の領域

96n歩 97n歩成 86nと 同n歩 96n歩 97n歩成 86nと 同香 96n歩 97n歩成 86nと 同銀 98香 97n歩 同香 同銀生 96n歩 まで 17手

詰上図

王										
		角								
王										
皇		●								
爵		●								
香	香									

攻方持駒 なし

受方持駒 香 n歩2

**受賞コメント 変寝夢**

あら、またまた意外な作で受賞ですね。投票頂いた方に感謝です。今後も細かいことを考えずに、思うがままどんどん作っていきたいと思います。まだまだ新しい駒、新しいルールを使った作品も考えていますので、これからもよろしくをお願いします。

★ 中立駒を使つての趣向は少ない。(まだ作品数も少ないし、手がけている作家も少ない)でも私はいろいろなルールでそのルールならではの趣向作をもっと見たいと思うのです。本作はそれに近く、構想作でもある1作。

**橋本孝治 2位**

打歩を巡る構想と趣向の融合。はがし趣向で玉が不動であることや、はがしに使う駒が歩なのが珍しく、とても印象に残りました。構想が先か趣向が先かは分かりませんが、一つの作品で両方の楽しみがある作品は良いですね。

**たくぼん 2位**

穴じゃないと無理なのかはよく分かりませんが、構想と趣向っぽい手順はどんぴしゃの好みです。

4位 中11 小林看空 2015/4  
Fairy of the Forest #43-02

5pt

協力詰 25手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
							龍	四
				飛	香	歩	香	五
				歩		王		六
				香	糸	角	糸	七
				香	金		金	八
				玉	桂			九

持駒 なし

17金 同玉 28金 26玉 37金 17玉 18歩 28玉 38金 29玉 28金 19玉 29金 同玉 38角 18玉 29角 17玉 18歩 16玉 38角 27金 同角 26玉 36金 まで 25手

占魚亭 1位

鑑賞し直しましたが、あらためて構成が素晴らしいと思いました。

5位 中7 上谷直希 2015/9  
第76回 WFP 作品展 76-3

3pt

背面協力自玉スタイルメイト 16手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
					王			六
								七
								八
								九

持駒 銀桂

18銀 28玉 17銀 18飛 27銀 37玉 26銀 27飛 46銀 26玉 38桂 39角 37銀 38飛生 35銀 同飛成 まで 16手

変寝夢 2位

飛の背面駒はポピュラーだが段を変えてもう一回行われているところが面白い

5位 中10 小林看空 2015/1  
Fairy of the Forest #42-03

3pt

協力詰 27手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								一	
								二	
								三	
								四	
								五	
								六	
					玉			七	
				歩	歩	歩	歩	歩	八
									九

持駒 なし

38銀直 28玉 29銀 39玉 48角 49玉 58銀 48玉 49銀 59玉 48銀 69玉 78銀 58玉 59銀 49玉 58銀 59玉 68角 48玉 49銀 39玉 48銀 49玉 38銀 58玉 59銀 まで 27手

酒井博久 2位

印象的な初形と執拗な駒繰り。

5位 中2 上谷直希 2015/2  
第70回 WFP 作品展 70-2

3pt

キルケ打歩協力詰 17手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 銀

87銀 97玉 75角 86歩 98銀 88玉 66角 77歩 89銀 87玉 78銀 同歩成/79銀 88銀 同と /79銀 同銀 96玉 97歩 まで 17手



**橋本孝治 3位**

二歩禁を利用した歩の入手はPWCではよく見られますが、同系統のルールであるキルケでは案外、数が少ないように思います。結果稿でも書きましたが、日本版キルケで「成駒は生駒になって戻る」という規則になった理由の一つがこの二歩禁利用なので、もっとこの種の作品が作られて良いと思います。

**たくぼん 次点**

結構考えました。

**8位 中6 上谷直希 2015/7**

**第74回 WFP 作品展 74-2**

**強欲詰 17手**

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							香		五
							香	玉	六
									七
						角			八
								桂	九

持駒 金3 桂3 香2

27 金 同歩生 28 桂 同歩生 15 金 17 玉 29 桂 同歩成 16 金 同玉 28 桂 同と 18 香 同と 17 香 同と 15 金 まで 17手

**井上順一 3位**

こちらは強欲ルールでの成らせ作品。うまくできている。



**9位 中14 上谷直希 2015/10**

**WFP 作品展 72-2 について**

1pt

**禁欲詰 27手**

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
					飛				二
									三
						香	香		四
					玉			玉	五
						桂	桂		六
									七
								桂	八
									九

持駒 飛銀

14 飛 25 玉 16 銀 同桂 24 飛 15 玉 25 飛 同玉 22 飛不成 23 金 同飛不成 24 飛 35 金 15 玉 25 金 同飛 同飛成 同玉 23 飛 15 玉 24 飛成 まで 21 手詰

**変寝夢 次点**

変化紛れが面白い。フェアリーというより普通詰将棋的な味わいだが

**【総評】**

**橋本孝治**

フェアリーの中編不足は今に始まった話ではありませんが、中編部門は不作。数も少ないですが、「重厚さ」を感じさせる中編が不足しています。協力系ルールでなく対抗系ルールが盛んになれば、この傾向も変わるでしょうか？

**変寝夢**

構想物が目立っていた。

**【長編部門】**

投票者：変寝夢、橋本孝治、酒井博久、会場健大、占魚亭、井上順一、たくぼん 計7名

長編部門の投票者は7名でした。1位は人間の脳では解答できない超弩級の詰ガエル氏の作品「永劫回帰」話題性という点でも反響は大きかったようです。2位は上谷氏、3位は神無七

郎氏と実力者が名を連ねました。

**1位 長8 詰ガエル 2015/5**  
**第73回 WFP 作品展特別出題 「永劫回帰」**

**24pt**

縦シリンダー盤安南多玉協カ千日手 175271040手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									将	将	一
									将	将	二
									将	将	三
									将	将	四
									将	将	五
									将	将	六
									将	将	七
									将	将	八
									将	将	九

攻方持駒 香∞  
受方持駒 香∞

19香 同香 18香 同香 17香 同香 22香 同香  
21香 同香 29香 同香 28香 同香 27香 同香  
12香 同香 11香 同香 (中略)  
19香 同香 18香 同香 17香 同香 16香 同香  
跳 21香 同香 29香 同香 28香 同香 跳 13香  
同香 26香 同香 跳 11香 同香 まで  
175271040手

**受賞コメント 詰ガエル**

投票ありがとうございます。本作は、起源のないフェアリー駒を新たに導入するなど、普通のフェアリーの範囲からは少し逸脱した作品です。このよう作を、掲載・解説してもらえ、というのには決して当たり前とは思っていません。WFPという、自由を許容する雰囲気を感じられる場があったからこそ、安心して創作・投稿に取り組むことが出来ました。WFP発行者のたくぼん様、WFP作品展担当の神無七郎様、解答や感想を送ってくださった皆様、その他、誌面外で感想を下された方々に強く感謝をしております。

さて本作は、素朴な確率論的考察では説明の付かないような異常な長手数になっており、このような現象が発生する理由は未だに謎です。いつか、この謎が解明される日が来ることを楽しみにしています。

★ 2015年の話題作といえば本作。今後のフェアリー界に本作がどのような影響を与えるのか注目したい。

**橋本孝治 1位**

一本道なのに人には解けない逆説的詰将棋。3以上はすべて「たくさん」という原始的言語の話がありますが、現代でも事情は大して変わりません。有限に関する命題は、たとえそれがどんな大きな数でも、必ず真偽を判定できる——それはあくまで「建前」の話。単に数が大きいだけに見落とされてきた命題や知ることのできない真理がどれだけあるのだろうか？そんなことを考えさせてくれる作品です。

**変寝夢 1位**

これが3列4列でやるとどうなるのかと考えるだけで恐ろしい。規則手順ではないことになり驚かされた

**井上順一 1位**

この狭い舞台で1億手とは、すごい。一本道なので時間があれば解けると思っていたのだが、桁が違いすぎた。

**会場健大 1位**

自分の世界を広げてくれた作品という意味で思い入れの深い作品。ひとつには発想の自由さの点で、人間のリソースをはるかに超えた深い世界がまだまだ盤上にあること、詰将棋が備える数学的荘厳さを目に見えやすい形で示してくれたことによって見えた世界がある。もうひとつは、これを解くためだけにプログラミングを勉強したことで技術面でも自分の世界が広がった、というまさに個人的な思い入れである。全幅探索のアルゴリズムを模索し、メモリ不足と戦い、どうにか得た解答は逆算で解けば20行で書いて10秒で得られるものであった、というどんでん返しもよい思い出で、おそらく一番本作を解図する醍醐味を味わった解答者は私なのではないかと思う。

**占魚亭 3位**

2015年に発表されたフェアリーで凄作といたら間違いなく本作。ミニチュア版の4作も凄かったですね。

**たくぼん 3位**

人間脳の解答者としては置いてけぼりされた感はあるが話題作でしょう。

🌀 2位 長1 上谷直希 2015/1  
第69回 WFP 作品展 69-3

14pt

Andernach協力白玉詰 62手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
			料						六
					王				七
							銀		八
		金	歩	馬	王				九

持駒 角金2銀

94角 67銀 58銀 同銀成転 59全転 58全 48  
金 59玉 95角 68全 58金 49玉 68金寄転  
67金 58銀 同金転 68金寄 67銀 48金 59玉  
67金転 68銀 58金 49玉 59金 同銀生転 58  
銀 同金転 68金寄 59玉 57金 68飛 58金 49  
玉 68金寄転 59玉 58飛 49玉 68飛転 67桂  
※5 58銀 同飛生転 59金 同桂生転 68飛 59  
玉 67飛 49玉 77飛 59玉 76飛 49玉 86飛  
59玉 85飛 49玉 45飛 67銀 57王 38玉 83  
角成 56金 まで 62手

詰上図

									一
									二
		馬							三
									四
	角				飛				五
			料	季					六
			料	王					七
						王	銀		八
		金	歩						九

持駒 なし

受賞コメント 上谷直希

Andernachをつくるのは難しい。私は根っからの短編作家ですので、このルールもまず短手数で頑張ってみたものの、なかなかうまくいきませんでした(私が下手なだけか)。中長編が似合うルールなのかもしれませんね。ありがとうございました。

★ Andernachを使った謎解きが見事。今後注目される分野ではないでしょうか？ただし、解答者が付いて来れるかどうかは怪しいかも(笑)

占魚亭 1位

Andernach の名品。難解ですが、完成度がすごぶる高い。

変寝夢 2位

こういうの見てると若いっていいよなあって感じます。情熱に1票です

橋本孝治 2位

「転」を駆使した文字通り目が回るような手順。空中へ伸びる梯子が完成するまで、ともすれば千日手のように見える駒交換を繰り返し、行き詰まりを打破せねばなりません。終盤は小野小町作「小匣」の前例があるとはいえ、本局はそこに至る手順が充実しているので、受賞の価値は充分です。

たくぼん 2位

2015年に解いた中では一番印象に残っている作品。

🌀 3位 長15 神無七郎 2015/1  
Fairy of the Forest #42-04

9pt

協力詰 61手

									一
									二
									三
	金			皇					四
	季		料						五
				玉					六
				銀					七
	料		王					料	八
		料	季	料	料				九

持駒 角

14角 25金 同角 36角 48金 同銀成 36角 47  
金 同角 同成銀 48金 同成銀 14角 25角 同  
角 36金 76角 同金 36角 47角 同角 同成銀  
48金 同成銀 14角 25角 同角 36金 67角 同  
金 36角 47角 同角 同成銀 48金 同成銀 14  
角 25金 同角 36角 68金 同金 36角 47金  
同角 同成銀 48金 同成銀 14角 25角 同角  
36金 85角 同龍 36角 47角 同角 同成銀 76  
角 67金 68金 まで 61手

詰上図

金				皇						
	龍			科						
		角		王						
			香	銀	香					
			金	王					龍	
			龍	香	龍					

持駒 なし

受賞コメント 神無七郎

本作の入賞はまったくの想定外。今期の長編は「永劫回帰」の存在感がダントツでしたから、票が割れて本作が滑り込みで入賞したのでしょう。準左右対称形の作品は、左右の手順の類似性と相違点が強調できれば成功だと思うのですが、その点本作はまずまず及第点でしょうか。配置面では94金が残念。普段は9×9の将棋盤でも狭いと思っているのに、このときばかりは8×8なら良かったのに…とってしまいました。

★ 合駒を使い、局面を打開していく。数出てくる合駒はもちろん限定。そして一筋縄ではいかない。実際に解図してみると何故か引き込まれる作品なのだ。

酒井博久 1位

合駒による巧妙な局面操作。

占魚亭 2位

「Fairy of the Forest」発表の長編では本作が一番。

たくぼん 次点

苦しく楽しく不思議な感覚。



4位 長 20 神無七郎 2015/7

Fairy of the Forest #43-06

8pt

協力詰 95手

								銀	銀	
馬					歩	歩	歩	歩		
	飛						科			
	飛	玉	桂		王			科		
	香			歩						
馬				入	入			入		

攻方持駒 香2

受方持駒 香2

48香 58玉 88飛 57玉 58歩 48玉 57歩 37玉 39香 38香 同香 28玉 37香 27玉 29香 28香 同香 18玉 26香 27玉 29香 16玉 28桂 27玉 36桂 28香 同香 37玉 39香 38香 同香 28玉 37香 同玉 39香 38香 同香 26玉 29香 28香 同香 27香 同香 同玉 29香 28香 同香 同玉 37香 同玉 39香 38香 同香 47玉 48香 38玉 46香 27玉 29香 28香 同香 36玉 39香 38香 同香 37桂 同香 同玉 39香 38香 同香 28玉 36香 27玉 29香 36玉 28桂 26玉 36桂 28香 同香 27香 同香 同玉 29香 36玉 39香 38香 同香 37桂 同香 47玉 39桂 37玉 38香 まで 95手

たくぼん 1位

このタイプの謎解き物が私の好みというのが大きな理由です。持駒香対香がいくつか見られますがこれは抜群に解き応えがありました。

酒井博久 2位

15と似た印象。駒数が多いぶん次位としました。



5位 長12 橋圭伍 2015/8  
第75回 WFP 作品展 75-4

5pt

アンチキルケ協力自玉詰 94手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
角	龍					ス			二
				香	ス				三
				香					四
		歩							五
歩			王						六
		飛	歩						七
王	桂		ス						八
桂	香	銀							九

攻方持駒 銀  
受方持駒 なし

65角成 87龍 54馬/88馬 同龍/82龍 87銀 97玉 76銀 87角 88銀打 98玉 87銀引 同龍/82龍 54角 87銀 同銀 97玉 86銀打 同龍/82龍 76銀 87銀 88銀 98玉 87銀引/79銀 54と 87銀 97玉 76銀 87角 88銀打 98玉 87銀引 同龍/82龍 65角 87銀 同銀 97玉 86銀打 同龍/82龍 76銀 87銀 88銀 98玉 87銀引/79銀 65と/63と 87銀 97玉 76銀 87角 88銀打 98玉 87銀引 同龍/82龍 43角 87銀 同銀 97玉 86銀打 同龍/82龍 76銀 87銀 88銀 98玉 87銀引/79銀 43と 87銀 97玉 76銀 87角 88銀打 98玉 87銀引 同龍/82龍 54角 87銀 同銀 97玉 86銀打 同龍/82龍 76銀 87銀 88銀 98玉 87銀引/79銀 54と左 87銀 97玉 76銀 87角 88銀打 98玉 87銀引 同龍/82龍 65角 同と まで 94手

橋本孝治 3位

アンチキルケ効果をふんだんに使った華やかな趣向作。将棋の将棋たる所以は駒が動くこと。駒の躍動には論理を越えた魅力があります。同じタイミングで発表された62手の作との選択は迷う所ですが、銀の授受に不思議な味わいのあるこちらの方に投票します。

変寝夢 3位

サイクルの秀逸さより、一生懸命の手作り感に温かみを感じます

たくぼん 次点

アンチキルケの趣向は好みです。

6位 長10 sogá 2015/8  
第75回 WFP 作品展 75-2

4pt

詰将棋 58手 ※受先

				銀	ス			王	一
								香	二
				馬		歩		圭	三
					歩				四
				香	王				五
歩						香		桂	六
				と		香		桂	七
				銀				香	八
飛			歩			桂			九

攻方持駒 歩  
受方持駒 歩

98歩 12歩 21玉 54馬 31玉 64馬 21玉 65馬 31玉 75馬 21玉 76馬 31玉 86馬 21玉 87馬 31玉 97馬 21玉 98馬 31玉 97馬 21玉 87馬 31玉 86馬 21玉 76馬 31玉 75馬 21玉 65馬 31玉 64馬 21玉 54馬 31玉 53馬 21玉 11歩成 同玉 12圭 同玉 24桂 23玉 35桂 24玉 25歩 同玉 43馬 26玉 16馬 37玉 27馬 48玉 49銀 59玉 68歩 まで 58手

井上順一 2位

最初に打った歩が馬鋸で取られるという構成がおもしろい。

橋本孝治 次点

普通の詰将棋に限りなく近いルールで「手番入替」を実現した作品。詰将棋で「パス」はできませんし、パスと等価な手を指すことも「攻方王手義務」が妨げています。受先形式では初手がフリーに指せるので「手番入替」が原理的には実現可能なのですが、それを具現化したことに高い価値があると思います。



7位 長 17 神無七郎 2015/4  
Fairy of the Forest #43-03

3pt

協力詰 63手

									玉	
					科	香	歩	歩		
					香	王	ス	ス		
				角	香	ス	ス	ス		
					香	ス	ス	馬		

持駒 桂歩

28と 同と寄 38歩 同玉 29馬 37玉 38歩 同と寄 19馬 28と直 29桂 同と右上 38歩 同玉 29馬 37玉 38歩 同と寄 19馬 27玉 37馬 18玉 27馬 29玉 38馬 18玉 29馬 27玉 18馬 37玉 38歩 同と 19馬 27玉 37馬 18玉 27馬 29玉 38馬 18玉 29馬 27玉 18馬 37玉 38歩 同桂成 19馬 27玉 37馬 18玉 27馬 29玉 38馬 18玉 27馬 29玉 18馬 39玉 17馬 38玉 39歩 37玉 29桂 まで 63手

酒井博久 3位

狭い所での駒繰りは個人的に好み。

たくぼん 次点

こんな密集系からこんな面白い手順がでるとは・・・。



8位 長 14 DD++ 2015/11  
第78回 WFP 作品展 78-4

2pt

打歩協力詰 53手


攻方持駒 なし

受方持駒 なし

※○：穴（着手不可、通過は可）

66歩 47金 同龍 86玉 85金 同玉 45龍 86玉 65歩 85玉 86金 84玉 24龍 64金 85金 同玉 64歩 84玉 85金 83玉 43龍 63金 84金 同玉 63歩成 83玉 64と 84玉 83金 85玉 45龍 65金 84金 同玉 65と 85玉 84金 86玉 26龍 66金 85金 同玉 66と 86玉 87金 同玉 47龍 86玉 67と 87玉 68と 67金 88歩 まで 53手

井上順一 3位

穴を使った作品で、手順が巧妙。

9位 長 18 たくぼん 2015/7

Fairy of the Forest #43-04

1pt

協力詰 63手


持駒 歩4

44 香 24 玉 25 歩 34 玉 35 歩 44 玉 94 飛 55 玉 95 飛 64 玉 94 飛 75 玉 95 飛 86 玉 96 飛 77 玉 97 飛 68 玉 98 飛 57 玉 97 飛 48 玉 98 飛 37 玉 97 飛 28 玉 98 飛 17 玉 18 歩 同桂 成 97 飛 28 玉 98 飛 37 玉 97 飛 48 玉 98 飛 57 玉 97 飛 68 玉 98 飛 77 玉 97 飛 86 玉 96 飛 75 玉 95 飛 64 玉 94 飛 55 玉 95 飛 44 玉 94 飛 35 玉 36 歩 25 玉 95 飛 35 飛 26 歩 34 玉 35 歩 44 玉 34 飛 まで 63 手

酒井博久 次点

26 桂移動の巧妙な伏線。

9 位 長 19 小林看空 2015/7

Fairy of the Forest #43-05

1pt

協力詰 77手

			銀	金	銀		馬	馬		一
		香		香		香	科			二
玉						龍		龍		三
		科						科		四
						歩				五
		歩	歩	歩	歩	歩	桂	桂		六
							歩	歩		七
					王			香		八
						將				九

持駒 歩9

49 歩 58 玉 59 歩 68 玉 69 歩 78 玉 79 歩 87 玉 88 歩 86 玉 87 歩 85 玉 86 歩 同桂 83 龍 75 玉 73 龍 65 玉 63 龍 55 玉 53 龍 45 玉 43 龍 35 玉 33 龍 45 玉 43 龍 55 玉 53 龍 65 玉 63 龍 75 玉 73 龍 85 玉 83 龍 96 玉 97 歩 87 玉 88 歩 77 玉 78 歩 67 玉 68 歩 57 玉 58 歩 47 玉 48 歩 37 玉 38 歩 27 玉 28 歩 26 玉 27 歩 同金 23 龍 36 玉 37 歩 同金上 33 龍 46 玉 47 歩 45 玉 46 歩 54 玉 63 龍 44 玉 45 歩 34 玉 43 龍 同玉 44 歩 33 玉 43 歩成 23 玉 33 と 12 玉 24 桂 まで 77 手

酒井博久 次点

豪快な収束が印象的。

【長編部門・総評】

橋本孝治

昨年度の長編で一番印象に残ったのは詰ガエル氏の「永劫回帰」。人間の知性の届かない「向こう側」にも世界がある。そのことを、分かり易い形で教えてくれる作品でした。

変寝夢

1 位は決まりでしょう。もっと詰将棋界で目立ってもいいぐらい。あと長 1 とか見ていると 9 9 手までは中編なのかなと思ったりします。

【推理将棋・プルフゲーム 短編部門】

投票者：橋本孝治、小木敏弘、Pontamon、奥野眞、NAO、たくぼん、計 6 名

投票者は推理将棋出題で PR した関係でやや増えました。初投票も 3 名。来年もよろしくお願ひします。

🌀 1 位 推 30 はなさかしろう 2015/11

詰将棋メモ 第 96 回出題 第 3 番

一番街の駒取り祭 15 手

15pt

「どうだった？ 最近町が静かすぎるから、リアル将棋祭を企画したんだけど」

「うん、面白かったよ。15 手で詰んだみたいだけど、その間に直前の手で成った駒が 2 回と生駒が 3 回も取られたからね。しかも駒取りはすべて、目の前の 1 筋で起きたからラッキーだった。駒を取らない 1 筋の手はたったの 1 手だけだったよ」

「そりゃなんたって駒取りが華だから、特別観覧席のある一番街でやる決まりなのさ」

「なるほどそういうことか。実は、なにしろ盤が大きいから、局面がどうなっているのかまではよくわからなかったんだ。先手が歩の手を 1 回だけ指したのと、その手に対して後手が三段目の手で応じたのが、ちょっと変わってるなあとは思ったんだけど」

「やっぱり見づらいかあ。大型スクリーンとかドローンとか、工夫がいるかなあ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

98 香 34 歩 99 角 44 角 88 飛 17 角成 同香  
42 玉 76 歩 33 玉 13 香不成 22 玉 11 香成 同  
玉 18 飛 まで 15 手

詰上図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金		金	銀	桂	王	
二		飛								
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩		
四							歩			
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩		
八	香								飛	
九	角	桂	銀	金	玉	金	銀	桂		

持駒 角香歩

**受賞コメント はなさかしろう**

本問を揃っていただいて本当にありがとうございます。思い出が空回りしてしまい、余詰検討での見落としが痛恨の極みでした。本手順が「15手で詰んだ／1筋で成駒2枚と生駒3枚が取られた／7六歩に対して3三玉で応じた」で成立していれば、より良い条件になると思います。

★昨年に続きはなさかしろうさんがV2。おめでとうございます。本作の受賞のポイントはやはりスケールの大きさでしょうね。解けた人も解かなかった人も納得の受賞でしょう。

**小木敏弘 1位**

いまでも、たまに頭に浮かんできたりする作品です。穴熊の角が印象的です。

**Pontamon 1位**

待っていたヒントが読み筋のまま、危うく無解になるところだった作品です。最遠の両王手が素晴らしい。

**たくぼん 3位**

解後感の良さが半端無いです。



**2位 推35 ミニベロ 2015/7 第74回 WFP 作品展 74-5 迷宮への誘い 11手**

10pt

- 11手目の両王手で詰
- 4手目は「左」
- 6手目は62玉

76 歩 34 歩 22 角成 52 金左 21 馬 62 玉 24 桂 51 玉 15 角 42 玉 32 桂成 まで 11 手

詰上図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金			馬	王		
二		飛			王	王	主			
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	
四							歩			
五									角	
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	

持駒 なし

**受賞コメント ミニベロ**

拙作を評価していただき、まことにありがとうございます。

本作のテーマは「飛香を使わない両王手」で、おそらく最短だと思いますが、私しか扱わない題材なので、どうでもいいことかもしれません。

玉方の仕事は3手だけなので、余った2手をどう使うかが、推理将棋作家の個性の出るところですが、私は玉に逆モーションをさせて作意を隠しました。「きたない」「ずるい」は最高の褒め言葉として喜んでおります。

「まず解けないだろう」と踏んで「迷宮への誘い」などという大層なタイトルをつけましたが、正解されたお二人には、降参するしかありません。また、好意的な解説もありがとうございました。

★ まず解けないだろうと思ってとは凄いコメント。実際解けませんでした。両王手にもいろいろあると再認識しました。しかし本作に正解を入れた一乗谷さんと DD++さんお見事でした。



兩名から投票があれば順位が変わっていたかもしれませぬね。

**たくぼん 1位**

あらゆる両王手を考えたつもりでしたが、それ以外にあったとは恐れ入りました。

**橋本孝治 1位**

予想もできない両王手。この詰型だけで受賞級でしょう。更に2手を無駄にするかのような玉の動きが意外性を増しています。

**🌀 2位 推 27 渡辺秀行 2015/10**

詰将棋メモ 第95回出題 2番

と金と成駒 11手

10pt

と金を成駒で取ったって？それでどうなったの？」

「うん。11手で詰んでしまったよ」

76歩 32飛 33角不成 52玉 42角不成 37飛成 32歩 54歩 31歩成 同龍 53銀 迄 11手

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
皇	科	駒	香		香	龍	科	皇	一	
				王	角		皇		二	
歩	歩	歩	歩	銀	歩		歩	歩	三	
				歩					四	
									五	
		歩							六	
歩	歩		歩	歩	歩		歩	歩	七	
							飛		八	
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九	

持駒 なし

**受賞コメント 渡辺秀行**

私の作品を選んで頂いてありがとうございます。11手詰ともなると1条件は狙っても仲々できないのですが、これだけ単純な条件だけで限定されたのは偶然の巡り合わせです。運が良かったと思っています。

★ 本作の価値は11手で1条件。そしてその条件文も結構短くて、いいヒントになっている好条件。完成品と言っていいでしょう。

**奥野真 1位**

コメントなし

**たくぼん 2位**

11手1条件の素晴らしさと解後感の良さに1票。

**Pontamon 3位**

11手1条件の驚きと、「成駒で取った」の表現で37飛の成・不成を吸収するテクニック。

**4位 推 2 斧間徳子 2015/1**

詰将棋メモ 第86回出題 2番

平成27年の指し初めの一局 13手

5pt

「昨日の指し初めの一局、わずか13手で27にいる相手玉を詰ませて勝ったよ。

平成27年の指し初めで27玉を詰めるなんて正月から縁起がいいや」

「そうだねえ。で、どんな将棋だったの」

「ええと、2筋の手が6回あったな。あと、飛車を引く手と不成の手もあったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

76歩 42玉 33角不成 同玉 78飛 24玉 77飛 25玉 26歩 同玉 78飛 27玉 28飛 迄 13手

**NAO 1位**

飛車をどこで引くか？2筋着手6回の条件が2筋で引く手順を連想させ、年賀の謎解き問題に仕上がった。初手の歩突きが飛車を屈伸するための空間づくりに使う新手筋。浮く手順を伏せて「飛車を引く」と表現した条件付けが巧い。

**5位 推 15 NAO 2015/6**

詰将棋メモ 第91回出題 1番

二段目の悪手 9手

3pt

「さっきの将棋、あつという間だったね」

「9手で詰まされちゃった。62金打に二段目の手で応じたのが失敗だったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

76歩 32飛 33角不成 42金 同角不成 41玉 62金 72金 51角成 迄 9手

**奥野眞 2位**

コメントなし

**5位 推29 チャンプ 2015/11**

**詰将棋メモ 第96回出題 2番**

**美野樫9兄妹の一局(その10) 15手**

**3pt**

健一「九美があんなに強くなってたとは驚きだな」

六実「八重ちゃんが一番相手になってあげたんだよね～」

八重「勝って当然ですわ」

隆二「兄貴、今日はやけに静観だな、やらないのかい？」

健一「ああ、なんか見てる方が面白くなってきてな」

隆二「らしくないこともあるもんだな」

健一「お前こそ、まだ物足りない感じなんじゃねえのか？」

隆二「そうかもな、じゃ次は七海と二人で行かせてもらおうか」

七海「え・・・わたくしとですか？」

九美「おおー？二人ですのおー？」

隆二「引き立て役二人で敵を蹴散らしてやろうぜ」

七海「予期せぬ事態に動揺を隠せません・・・」

源三「なんや、珍しいペアで行きよったな」

六実「隆ちゃん頼りになるから大丈夫よ～」

四郎「ああ見えて七海も相当強いからね」

隆二「こっちの先手だな、さあ行くぜ七海」

七海「は、はい・・・」

・・・対局開始・・・

四郎「あ、終わったみたいだよ」

隆二「角打ちまでの15手で仕上げてやったぜ」

隆二「俺と七海、二人で交互に指してやったよ」

隆二「成る手は無かったが、同じ地点に6回も着手があったな」

七海「・・・察するに10手目の△33玉が問題かと」

圭五「二人ともすげえー！息の合ったパス回しに感動したぜー」

源三「ほお・・・やりよるなあ・・・」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

76歩 34歩 22角不成 同飛 77角 42玉 22角不成 同銀 72飛 33玉 22飛不成 72角 同飛不成 24角 22角 迄 15手

**Pontamon 2位**

元条件での余詰み手順を探すのに苦労した作品であるとともに、実は推32の「豪勢な詰め12手」はこの作品の解図中の派生作だったのです。

(元条件では角打ち2回でしたが、角打ちが1回しかない手順)

26歩、42玉、78飛、34歩、25歩、77角不成、同飛、64歩、24歩、33玉、78銀、44玉、27角、55玉、75飛

**7位 推6 チャンプ&DD++ 2015/2**

**詰将棋メモ 第87回出題 3番**

**美野樫9兄妹の一局(その3) 10手**

**2pt**

健一「みんな調子いいみたいだな」

健一「じゃあ次のメンバーは俺が決めるぜ？」

健一「俺・源三・四郎・六実・七海でどうだ？」

一同「了解ー」

圭五「ちえー！今度はベンチ入りかよー」

九美「健にいが言うなら仕方ないねえー」

八重「・・・」

源三「今度はわしらが後手やな」

・・・対局開始・・・

隆二「早速終わったみたいだぜ」

源三「10手で勝ったでー」

四郎「またみんな一手ずつ指して勝てたね」

六実「そうそう、不成が2回もあったわ～」

七海「・・・察するに3手目の玉の手が緩手かと」

健一「これで予選突破！やっぱ俺たち無敵！」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

68飛 34歩 48王 77角不成 46歩 68角成 11角不成 16飛 38香 46飛 迄 10手

**奥野眞 3位**

コメントなし

8位 推 16 はなさかしろう 2015/6  
詰将棋メモ 第91回出題 2番  
最後の角の手は 9手

1pt

「9手で詰んだとのことですが、何があったのですか」

「角の手が何手かあったね。でも、1一角不成が最後で、その後は角の手はなかったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

76歩 34歩 22角不成 52玉 51角 54歩 11角不成 55歩 54香 迄 9手

#### Pontamon 次点

最終手の着地点と駒種を明かす作品は見掛けますが、途中の着手での使用に驚きました。しかもその1条件で手順前後や成・不成も全て限定されているのが凄い。

8位 推 23 DD++ 2015/9  
詰将棋メモ 第94回出題 1番  
このはしわたるべからず 9手

1pt

- ・9手で詰んだ
- ・3手目は端
- ・4手目は端
- ・5手目は端
- ・6手目は不成

58飛 14歩 96歩 13角 97角 57角不成 同飛 52玉 53飛成 まで 9手

#### Pontamon 次点

最終手の着地点と駒種を明かす作品は見掛けますが、途中の着手での使用に驚きました。しかもその1条件で手順前後や成・不成も全て限定されているのが凄い。

8位 推 25 Pontamon&NAO 2015/9  
詰将棋メモ 第94回出題 3番  
金を動かさず 9手×3

1pt

(条件A)

- ・9手で詰んだ
- ・5手目は角
- ・6手目は右金※を上がる
- ・7手目は6筋に銀
- ・9手目は角を打つ

(条件B)

- ・9手で詰んだ
- ・5手目は角
- ・6手目は左金※を上がる
- ・7手目は6筋に銀
- ・9手目は角を打つ

(条件C)

- ・9手で詰んだ
- ・5手目は角
- ・6手目は金を寄る
- ・7手目は6筋に銀
- ・9手目は角を打つ

A:76歩 34歩 22角生 52玉 33角成 62金 68銀 44歩 43角 まで 9手

B:76歩 34歩 22角生 64歩 31角成 52金左 63銀 62金寄 42角 まで 9手

C:76歩 52金左 33角生 41玉 22角成 51金寄 68銀 42銀 32角 まで 9手

#### Pontamon 次点

最終手の着地点と駒種を明かす作品は見掛けますが、途中の着手での使用に驚きました。しかもその1条件で手順前後や成・不成も全て限定されているのが凄い。



【推理将棋・プルーフゲーム 中長編部門】

投票者：Pontamon、はなさかしろう、奥野眞、たくぼん 計4名

候補作も少ないせいか、4名の投票でした。

**🌀 1位 推4 NAO 2015/12**  
**詰将棋メモ 第97回出題 3番**  
**2016の決め手 20手**

11pt

「新年の指し初めはどうだった？君は後手番だったね」

「ああ、2筋の手を8回と1筋の手を1回指して勝ったよ」

「平成28年の元旦にぴったりだね」

「それだけじゃないよ。20手目16地点の着手が初王手で28の玉を詰ませたんだ」

「なるほど、2016の決め手で平成28年の玉を捕らえたってことか。今年はイケイケだね」

「イケイケGOGOじゃないけど、こっちが5連続で2筋に着手した後、相手も5連続で2筋に着手したんだ。不成の手も5回あったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？  
 そして2016年、貴方の勝負手は？

76歩 24歩 44角 25歩 26角 同歩 48王 27歩不成 38王 28歩不成 同玉 38角 24歩 29角不成 23歩不成 24桂 22歩不成 23飛 21歩成 16桂 まで 20手

詰上図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金	王	金	銀	と	香	
二		飛								
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	飛	歩	
四										
五										
六			歩						料	
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩		歩	
八								玉		
九	香	桂	銀	金		金	銀	馬	香	

持駒 角桂

**受賞コメント NAO**

部門1位に選ばれたとのこと、ありがとうございます。両王手の詰上がりに加え、初王手・20手詰・16着手・28玉・2筋8回・1筋1回と年賀に関わる条件を盛り沢山に織り込めたのが幸運でした。

★新年を飾るに相応しい条件が揃い。作品内容も素晴らしい。文句なしでしょう。

**Pontamon 1位**

投稿した20手目16着手の初王手で28の玉が詰む年賀詰は余詰なのですが、更に2筋8回の28、1筋1回の11まで織り込んだ構想に脱帽しました。

**奥野眞 2位**

コメントなし

**たくぼん 2位**

これだけ目出度ければ入れないわけにはいかない。

**🌀 2位 推2 はなさかしろう 2015/7**

**詰将棋メモ 第92回出題 3番**

**はだかの王様と几帳面な王様 18手**

10pt

「陛下、隣国の王様を捕まえました。18手かかりました」

「捕まえたとき当方も先方も盤上に20人ずついたそうです」

「捕まえたとき中段にいたのは五段目の先方の王様だけでした」

「おお、なんと無鉄砲な。よろしい、とりあえずご苦勞でした。先方の家臣もさぞかし気を揉んでいることでしょう。隣国の誼を心がけ、くれぐれも丁重にお送りするのですよ。ともあれ、良い訓練になりましたね。今日の出来事を振り返っておきましょう」

「歩の手が4手続いたことがありました」

「11手目は三七歩でした」

「なんと、歩が活躍したようですね。うむ、大儀でありました」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

48王 34歩 36歩 35歩 同歩 32飛 37王 35飛 26王 38飛成 37歩 27龍 15王 38歩 同飛 32歩 28歩 33角 まで 18手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	一
						歩			二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
								王	五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
	角					飛	歩		八
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	九

持駒 なし

受賞コメント はなさかしろう

長編が手順に沿う条件を軸にするのに対し、中編の条件は中間点や詰め上がりなどのスナップショットが軸になると考えておりました、本問は中編でどこまで手数を伸ばせるか、という試みでもありました。「はだか条件」「几帳面条件」プラス2条件、18~20手の枠組みで5問のシリーズにしたのですが、さすがに難しすぎたようで、NAOさんが本問(第1問)のみ切り取って出題して下さったお蔭で多くの方に解いていただけたと思います。19手の第5問はまだまだなんとか単独で行けそうですが、他の問題はそのうちスピノフを作っていこうと思っています。

★ はだかの王様(中段の駒が5段王のみ)と几帳面な王様(盤上に双方20枚)条件の最短手数作品。37歩条件が程よい条件で作品が優しく(易しくではない)なっている。

奥野真 1位

コメントなし

Pontamon 2位

苦手な中段玉の作品だったので、詰み形をいろいろ考えさせられました。

たくぼん 3位

この作者の中長編は楽しみではない。



🌀 3位 推6 一乗谷酔象 2015/1

第69回 WFP 作品展 69-9

同飛車大学9回生 56手

8pt

「さっきの将棋どうだった?」  
僕が見たとき君の駒台は『飛角金銀桂香』が各1枚ずつと歩が沢山あって溢れそうだったけど」  
「全駒で勝ったよ。」

56手目の5回目の王手で詰んじゃった」

「ホントかい?もう少し詳しく教えて」

「10手目以降、相手が直前に着手した駒をひたすら取り続けたただだよ。それも飛車だけでね」

「相変わらず強欲なやつだな。それだけかい?」

「あの将棋、4段目の着手は1回もなかったんだけど、成る手が1回だけあった。先手は1,2,3,6,8筋の順番に連続して歩を突いていたよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか?

76歩 72飛 33角生 同角 77桂 85角 65桂  
88角生 73桂生 同飛 75歩 同飛 76歩 同飛  
96歩 同飛 16歩 同飛 26歩 同飛 36歩 同飛  
66歩 同飛 86歩 同飛 88銀 同飛生 38金 同飛生  
33角 同飛生 23飛生 同飛 13香生 同飛  
17桂 同飛生 12歩 同飛生 92歩 同飛 93香生  
同飛 98歩 同飛生 48銀 同飛生 46歩 同飛生  
56歩 同飛 57歩 同飛生 58金 同飛成  
まで 56手

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	一
									二
	歩		歩	歩	歩				三
									四
	歩								五
									六
									七
				銀					八
				玉					九

持駒 なし

受賞コメント 一乗谷酔象

本作品は、10手目以降「24連続同飛」を狙いとしています。角に比べると縦横に動ける飛車の自由度が高く手順限定が難しいのですが、途中の後手持駒が工夫した条件です。なお、当初「10手目以降同飛」の最大を狙いまし

たが 25 連続の手順が見つかっております。解図に挑戦された方々、投票して下さった皆様に感謝いたします。

★ 一乗谷さんの長編シリーズは WFP 作品展のうりの一つですが、昨年は本作 1 作のみ。しかしその 1 作が難解で正解者は真 T さんただ一人。受賞も当然の 1 作です。詰将棋メモの推理将棋出題では無理な作品は是非 WFP でと宣伝しておきましょう。

#### たくぼん 1位

解けませんでした。2 手目 72 飛は思考外。

#### はなさかしろう 2位

私は本問出題後に mixi で展開された同飛車大学シリーズの解図を楽しませていただきましたので、シリーズを代表して本作に投票します。「同飛車の連続」がまさしく長旅に沿う条件で、長編特有のじわっと解く感覚を楽しむことができました。

#### 4位 推7 一乗谷酔象 2015/8

#### 第75回 WFP 作品展 75-11

#### 最長手数探索問題

5pt

実戦初形から次の条件を満たす最長の手順を求めよ

〔条件〕

- 1)同一局面なく初王手で先手玉が詰まされた。
- 2)後手は4手目以降、77,88,99の3箇所へ"大駒を打つ手"または"大駒で駒を取る手"を指し続けた。
- 3)成る手なし。

作意：284手

超正解：はなさかしろう解：2262手 超正解：DD++解：1690手 詳細はWFP88号をご覧ください。

#### はなさかしろう 1位

推理将棋のポイントのひとつは将棋の初期配置の神秘を顕在化させることだと思います。本作はその絶妙な好例。お蔭で生身の人間の思考がぎりぎり届く範囲でそれなりの水準の解答案を作成することができるようになっていきます。具体的には、先手が後手の飛車を取り、取るのに使った大駒を長寿地点に引き戻す、という工程で費やされるカウン

ト数が初期配置におけるストックで丁度足りており、長寿地点外に置いた飛車の位置をずらしながらループを回していく機構（以下エンジンと呼びます）がびったり回せるようになっているのです。

本問は出題後も、作者の一乗谷酔象さんのもとより、長寿地点のアイデアを提示した Pontamon さん、そして 1000 手越えが可能なことを宣言した DD++さんが育てた問題でした。特に 1000 手越え宣言は衝撃的でした。可能と言われれば血眼になって探すもので、エンジンの機構によろやく辿り着き、痺れました。その後私も角を使った補助ループ（エンジンと組み合わせると機能する、ターボのような機構）を示すことで最後になんとか参加できたかな、と思っています。

作品解説や収束の最適化もとても興味深く、更に手数を伸ばす余地も残っているようで、今後も楽しみです。条件の奇跡的な組み合わせが提示された本問を 1 位に推します。

#### Pontamon 3位

参加したくても、全く手も足も出なかった問題でした。

#### 5位 推1 チャンプ 2015/4

#### 詰将棋メモ 第89回出題 3番

#### 美野樫9兄妹の一局(その6) 19手

2pt

健一「さあて、次はどんなメンバーで行くかな・・・」

八重「ちょっと一っ！私の出番は一!？」

四郎「そういえば・・・八重ってまだ・・・」

健一「あっ・・・ああ、悪い悪い、じゃあ次は八重と・・・」

八重「私ひとりで十分よ！皆は休んでて！」

隆二「いやちょっと待て、いくらなんでもそれは無謀だろ」

七海「わたくしもそう思います、みんなで力を合わせて・・・」

八重「いいから、私に任せなさいっ!!」

一同「はっ・・・はい・・・」

圭五「あちゃーこりゃキツイ試合になるぜー」

九美「八重ねえ、大丈夫かなあー？」

源三「まあ負けてもエエやないか好きにさせたる」

・・・対局開始・・・

八重「さてと、私の先手ね、こんな弱そうな相手、恐れるに足りずだわ」

八重「はー？何それ！アンタ最初は歩を動かすって習わなかったの？」

八重「19手で詰みね、成る手がなくて手数は掛かったけど楽勝ね」

八重「最後の桂打ちで弾(持ち駒)は全て使い切ったわ」

八重「そういえば私が 85 同歩と指したら慌てて玉を初めて動かしてたわね」

八重「一体何に怯えてたのかしら」

六実「え～ホントに勝っちゃった！八重ちゃん、すご～い！」

健一「つ・・・つええ・・・ていうか八重って怖ええ・・・」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

86 歩 92 香 85 歩 94 歩 84 歩 93 桂 82 歩不成 同飛 86 歩 85 桂 同歩 62 玉 84 歩 72 玉 83 歩不成 同玉 81 飛 93 玉 85 桂 まで 19 手

**奥野眞 3位**  
コメントなし

## 【推理将棋総評】

### 橋本孝治

昨年は WFP 作品展の作しか見ていないので 1 作だけ投票します。75-11 の長手数探索問題は厳密に言えば余詰なので、投票の対象外としました。

### 【総評】

### 橋本孝治

今年は部門ごとの作品数の違いが気になりました。フェアリー詰将棋の中編部門と推理将棋・プルフゲームの中・長編部門が少ないですね。年度ごとにばらつきがあるのは仕方ないですが、過去の傾向を見て部門の再編を検討しても良いと思います。

### 酒井博久

例によって、FOFのみからの投票です。よって、「推理将棋・プルフゲーム」はパスします。

### 上谷直希

色々考えたのですが、結果として非常に少数の投

票になってしまいました。申し訳ですが、どうかご容赦ください。

### 小木敏弘

もっぱら推理将棋を楽しんでします。特に忘れられない作品です。

### 奥野眞

おもちゃ箱で Fairy TopIX2015 のことを知りました。推理将棋・プルフゲーム部門の投票をします。

### Pontamon

お気に入り投票とのことなので、印象に残っている条件とか解図に手こずった作品が基準になってしまいました。つまり、手順の妙とかではなく、全くの主観です。なので投票作品へのコメントも的外れになっているかも。

### はなさかしろう

推理将棋以外は私はからきし駄目でおこがましいので論外としまして、推理将棋の短編部門についてはいずれも甲乙つけ難かったため、推理将棋・PG 中長編部門のみ投票させていただければと思います。ひとつには、この場をお借りして長編推理将棋押しを表明させていただきたいと思う次第でもあります。

### 会場健大

表題の通り投票させていただきます。気に入ったもののみで恐縮ですが、

### NAO

投票できず、申し訳ありませんでした。今週は連休明けの反動で本業に手一杯でした。遅くなりましたが、担当のおもちゃ箱推理将棋から 1 作お気に入りを投票します。

### 井上順一

お気に入り投票となると、どうしても自分が解いた(正解にたどり着けたかは別)作品の中からとなってしまうので、難解作は入りません。また昨年の途中から WFP の解答を始めたので、6 月以前の作品は対象としていません。ということで、意味があるかはわかりませんが、投票します。

★ たくさんの投票ありがとうございました。2016 年もどんな作品が私たちを楽しませたり驚かせてくれるのでしょう。

★ これまでフェアリーを遠い世界と敬遠されていた皆さん、是非一度、解図や創作にチャレンジしてみたいかがでしょう。

# リパブリカン詰の紹介（訂正版）

## 変寝夢

出題：

チェスの Republican Chess が面白かったので、将棋に移植してみました。

リパブリカンとは「共和国」という意味らしいのですが、名付けられた理由はわかりません。

### ルールの説明

#### 1. 詰み

先手の着手後、後手玉を置いたときに後手玉が詰みとなる空きマスが、1カ所以上あれば協力系リパブリカン詰での詰みである、これだけです。ただし打歩詰（打歩詰の時は打歩以外の詰）は禁止です。

それでは例題（1手詰）を一つ。後手玉がありませんがリパブリカン詰ではこれが標準。打歩詰、二歩、行き所のない駒が発生しない着手ならば全ての指し手が可能です。

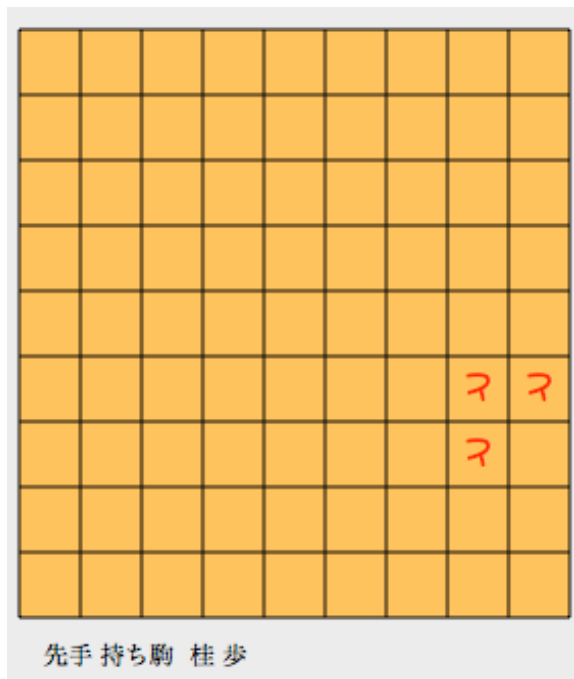
何も考えず32金と打ってみましょう。さてこれで詰んでいるのでしょうか。

そう、31玉と置けば例の頭金の形ですね。

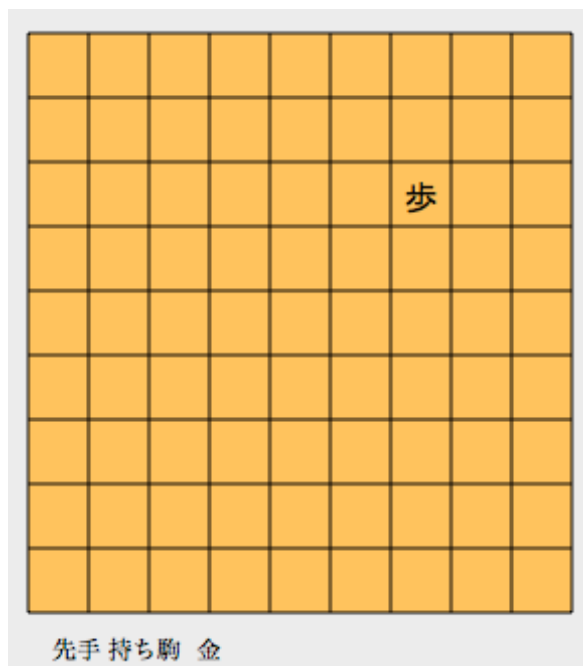
正解は32金（+31玉）までの1手詰でした。

次の図ですが、協力詰3手です。持駒に金があれば4段目に桂を打って頭金なのですが。

右下の配置をじっと見て玉位置、詰め上がりを想像してみると・・・。

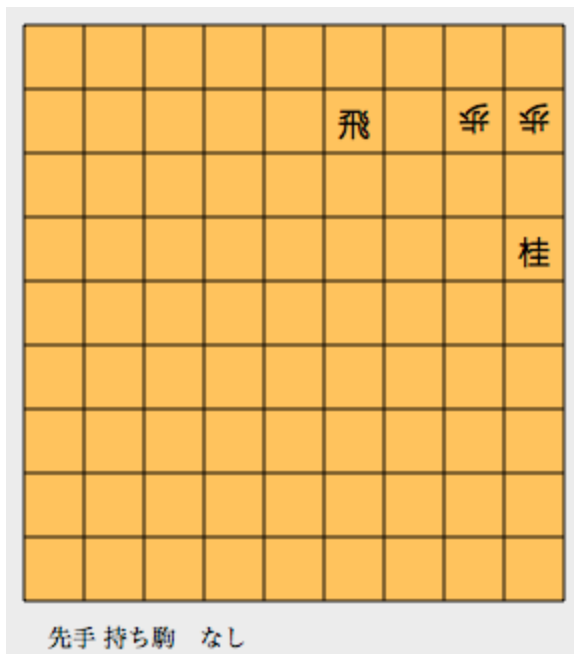


正解は19歩、28角、29桂（+17玉）までの3手でした。手順前後すると打歩詰で不詰です。

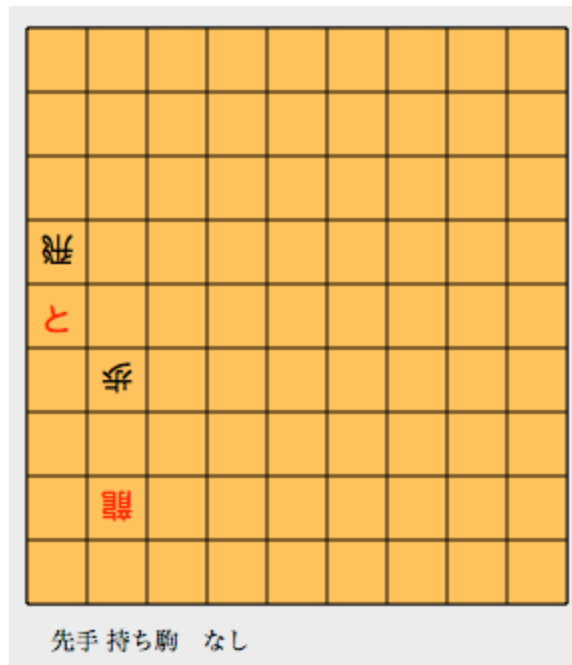




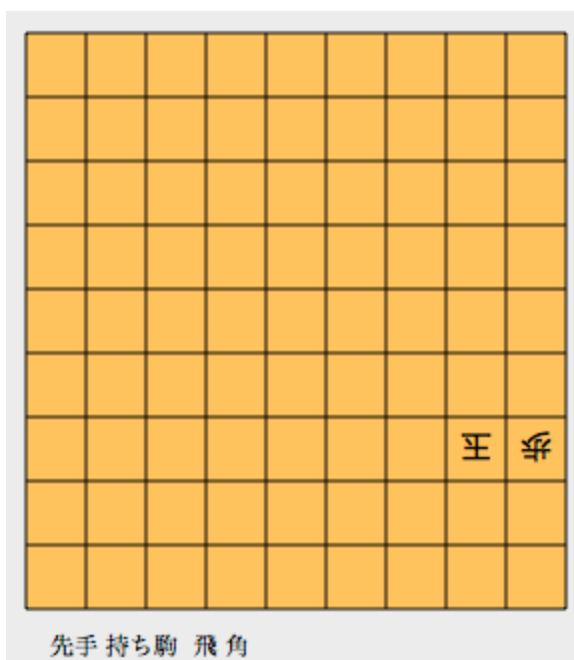
今度はリパブリカン打歩協力詰 3 手です。  
 作意は 2 2 飛生、1 3 歩、1 2 歩 (+ 1 1 玉) ま  
 での 3 手ですが、初手飛成や桂成りは成立しない  
 のでしょうか。  
 実は 2 2 飛成 (桂成) とした瞬間 + 1 1 玉や + 2  
 1 玉で詰んでいるのです。そしてこの例題の場合  
 打歩詰の指定ですので、失敗となります。



協力詰 3 手です。双方持ち駒なしです。  
 作意は 9 4 と、8 7 龍、9 5 飛まで 3 手ですが、  
 2 手目 8 7 龍とした瞬間攻方の玉を 9 7 に置け  
 ば詰んでいます。  
 これについては、特例として「協力系での攻方玉  
 の詰は考慮されない」といたします。



リパブリカン打歩協力自玉詰 4 手です。  
 作意は 1 8 角、同歩生、2 9 飛、2 8 歩までです。  
 さて 2 手目成はどうでしょうか。  
 1 8 歩成だとやはり (+ 1 9 玉) で詰んでおり失  
 敗です。



次は協力自玉詰の詰みです。

左図は協力自玉詰4手です。非連続王手ではないので後手玉に王手を掛けながら、後手の着手後、任意の位置に先手玉を置いたときに詰んでいれば

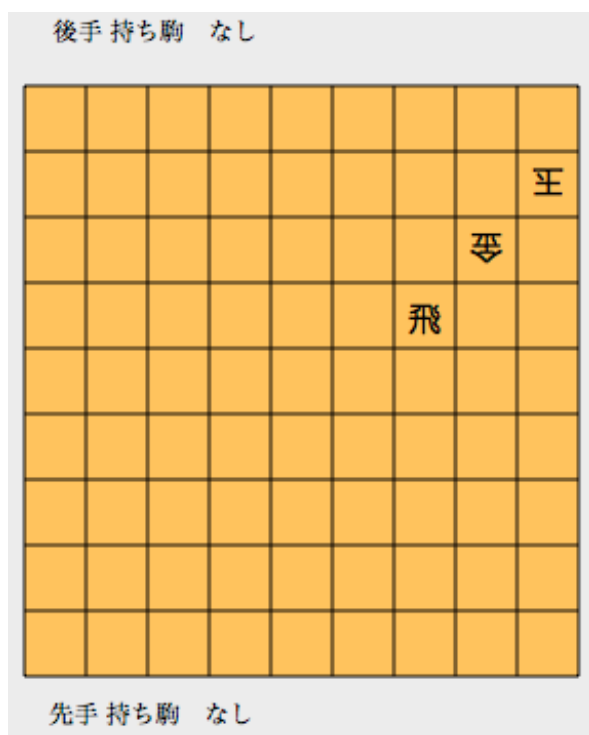
自玉詰となります。

正解は1 4 飛、2 2 玉、1 2 飛生、3 3 玉 (+ 1 3 玉) までの4手です。

3手目1 2 飛成だと2 3 龍ができ不詰めです。

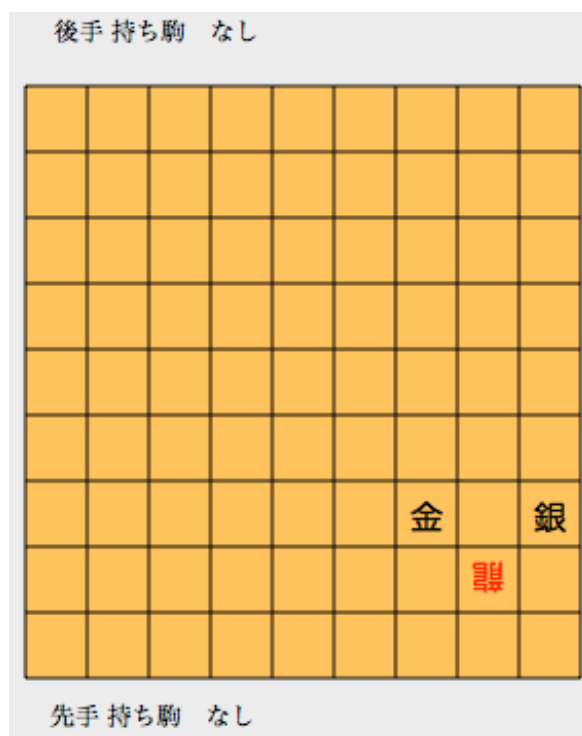
また後手の持駒を「残り全部」にすると3 2 飛成 2 2 銀(角)、2 1 龍、同玉 (+ 1 3 玉) などいろいろ余詰です

協力系協力自玉系問わず、連続系もしくはステイルメイト等組み合わせても面白いと思います。



## 2. 可能局面かどうかは考慮しなくてもいい

下図(協力詰3手)は正解手順は2 7 金、1 8 龍、2 8 銀 (+ 1 7 玉) までの3手です。金銀による両王手が狙いですが、この詰め上がりは通常の詰将棋ではあり得ない形です。そんなのあり?と思われるかもしれませんが、リパブリカン詰では全く問題ありません。むしろ最初はこういった通常ありえない詰め上がりを模索していくことになるのではないのでしょうか。



## 3. 最後に

協力系は相当詰みやすいので、連続系か協力自玉詰が実用的かなと思います。

想像力、ひらめきが必要とされるのでそちらが得意な人には向いているルールではないかと思います。興味ある方はチャレンジしてみてください。

## 解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

### 2016年6月10日(金)

第3回フェアリー入門  
フェアリー作品 5題

### 2016年6月15日(水)

第82回WFP作品展

フェアリー作品 7題

### 2016年6月19日(日)

強欲な世界 PART 8  
強欲協力詰 1題

### 2016年8月15日(月)

第83回WFP作品展  
フェアリー作品 16題

## 作品募集一覧

### 第4回フェアリー入門

【課題】「G(グラスホッパー)」を含む作品

【ルール】最善詰、かしこ、協力詰

【手数】1,3,5手

【採用基準】担当が1時間以内で解ける

\* G以外のフェアリー駒禁止、駒制限は可  
\* 投稿多数時は採用基準に漏れた場合に返送となる可能性があります。

投稿・解答要項

【送り先】keigotatibana@hotmail.com

【投稿・解答締め切り】2016年6月10日

### Fairy of the Forest #48

課題：協力詰「風船図式」

投稿締切：2016年7月15日

(投稿先)

→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

詳細は P34 をご覧下さい

## WFP100号記念1人1作作品展

WFP100号(2016年10月号)にて開催します。  
1人最低1ページお渡しして、以下の内容を含んで作稿してもらいます。

- ・解答募集の(自信?)作品
- ・プロフィール(400人1局集みたいな)
- ・100号に寄せて
- ・その他(好きなことを書いてください)

※解答募集期間は執筆者が決めてください。結果稿もご自分で書いて頂きます。作品にてついでには条件はありません。フェアリー作品、普通詰将棋、プルーフゲーム、将棋パズル、推理将棋、何でも可。100号に拘らなくても結構ですが、100号に相応しければ嬉しいです。詳細は次号で

## あとがき

Fairy TopIX2015の結果稿を何とか間に合わせることが出来ました。お気に入り投票期間を延長すると集計、結果稿作成時間が厳しくなるのは分かっているのですが、やはり投票数が多いほうが盛り上がりますので頑張りました。今回、詰将棋メモ第100回推理将棋出題の総評にお気に入り投票のお願いを書いた所、数名からそれを見たということで投票頂きました。やはりPRは必要だなと感じた次第です。

\*\*\*\*\*  
結果稿を読んだ感想、意見、返信等ありましたらメール下さい。改訂時スペースに追加掲載します。(25日前後まで) たくぼん  
\*\*\*\*\*

2016年 第95号

**Web Fairy Paradise**

非売品

平成二十八年五月号

平成二十八年五月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先 takuji@dokidoki.ne.jp